

第七十回  
帝國議會  
貴族院

# 漁船保險法案特別委員會議事速記録第三號

昭和十二年三月二十四日(水曜日)午前十一時六分開會

○委員長(伯爵堀田正恒君) 是ヨリ開會致シマス

○山本米三君 少シク事務扱ヒノコトニ互リマスガ、ハッキリ致シ置キマスル方宜イト考ヘマスルノ御伺ヒラ致シマス、參考書ノ三頁ニ「保險金額ノ一町歩當リ」トゴザイマスルノハ、定メテ實測反別デアラウカト思フノデゴザイマスルガ、公簿反別デアルト致シマスルト、山林ノ公簿反別ハ田畑宅地ト異ニ致シマシテ、所ニ依リマスト實地ノ面積ハ公簿ノ數倍モアルモノハ珍シクナイノデアリマス、是ハ何レデゴザイマスルカ、ハッキリト致シ置キマスル方宜イト思フノデゴザイマス、トコロデ實測反別ト云フコトニナリマスルト、又實測ラシナケレバナラスト云フ面倒ガ起ルデナイカト思フノデゴザイマスガ、此ノ點ハ如何御取扱ヒデゴザイマセウカ

○政府委員(村上龍太郎君) 山本サンニ御答ヘ申上ゲル前ニ、チヨット昨日松村サンカラ、商工省ト打合シテ返事ヲスルヤウニトノコトデアツテ、答辯ガ殘ッテ居リマスカラ

ソレヲ致シテ置キマス、商工省トモ打合セマシタガ、超過保險ノ場合ニ於ケル保險價額ニ付テハ、事實上喰違ヒガ起キナイヤウニ、實行ニ付キ適當ナ處置ヲ執ルヤウニ、商工省ト打合セラ致シマシテ左様ニ致シタイト考ヘテ居リマス、ソレカラ只今山本サンノ御尋デゴザイマスガ、是ハ見込反別デ參ラウト思ッテ居リマス

○山本米三君 見込ト申シマスドウ云フ風ナ……

○政府委員(村上龍太郎君) 只今仰セノヤウニ臺帳反別ハ是ハ實際ノ反別ト違ヒマスカラ、是ハ採リマセヌ、ソレカラ實測反別デ一々ソレヲ測量スルト云フコトニナルト、是亦ナカク費用ヲ要シマス、大體此ノ山ハ何町歩ト云フ見込デ以テヤツタ反別、ソレヲ基礎ニシテ初メ採ッテ參ラウト思ッテ居リマス

○山本米三君 ソレハ矢張り御扱ヒニナルノハ、何レデゴザイマセウカ、縣廳ガヤラレルノデセウカ、又町村長ニデモ御委セニナルノデゴザイマセウカ

○政府委員(村上龍太郎君) 是ハ町村ニヤラセタイト思ッテ居リマス、造林地デゴザイ

マスカラ、大體一町歩何本植エト云フヤウナコトハ大體分ッテ居リマスカラ、サウ誤リハナカラウト思ッテ居リマス

○山本米三君 私ハ前回ノ委員會ニ於キマシテ、政府ガ此ノ國營保險ヲ壯齡林ニマデ擴張實施サレマスルコトハ、森林經營ヲ圓滑ナラシムル爲ノ必要デアルコトヲ申述ベテ御尋ネラ致シタノデアリマスルガ、尙附加ヘマシテ其ノ必要ラバ申上ゲマスル爲ニ、森林金融ノ狀況ヲ簡單ニ申述ベタイト思ヒマス、現在我ガ國デハ森林ノ金融ハ大體勸業銀行、農工銀行、普通銀行、産業組合、個人貸付業ニ依ッテ行ハレテ居リマスルガ、森林ノ價格ノ評定ガナカク困難デアリマス、評定ニ特殊ノ手數ヲ要シマスルコトヤ、貸付ノ擔保物ト致シマシテ、多ク不便ノ土地ニアリマシテ且ツ廣汎ナ地域ニ跨ッテ居リマスルガ爲ニ監視ガ容易デナイコトヤ、一旦擔保流レニナツタ場合ニ處分ニ困難ヲ感ジマスルコトヤ、貸付ガ、事業ヲ性質上長期固定ノ貸付ニナリマスルコトヤ、最後ニ種々ノ危害、殊ニ火災ノ多イコト等ノ特殊ノ事情ヲ持ッテ居リマスルガ爲ニ、他ノ一般財産ヲ擔保ト致シマスル如クニハ金融ハ

行ハレテ居ナイノデアリマス、即チ擔保物タル森林ノ有ツ實際ノ價格ニ比ベマシテ、貸付ノ金額ハ甚ダ少ク且利率モ調査費用等ガ要リマスルノデ結局甚ダ高率デアリマス、斯クシテ、假令銀行ノ手ニ依リマシテ、折角資金融通ヲ得マシテモ、企業上一向有利デナイバカリデナク、之ガ融通ハ自然相當ナ林業家ニ局限サレ勝チデアリマス、小サナ山林所有者ガ大多數ヲ占メテ居リマス我ガ國ノ狀態ニ在リマシテハ、是等一般ノ山林所有者ニ對シマシテ金融ノ途ガ開カレテ居ナイト云フコトハ事實デアリマス、我ガ國ノ林業ガ今ニ容易ニ振ハナイノハ、此ノ金融施設ガ甚ダ不十分デアルコトガ最モ重大ナ原因デアルトシテ重視シナケレバナラヌコトデアリ、林業ノ進展、山村ノ振興上ニハ、恰モ彼ノ特異ノ事情ヲ有シマスル水産業ニ於ケルト同様ニ、林業ニ對シテハ是非共、例ヘバ森林銀行ヲ設クル等、特殊ノ金融施設ヲ講ズルコトガ根本ノ必要條件デアリマスルガ、森林火災保險ヲ普及シテ、サウシテ森林金融阻害ノ原因ヲ解消致シマシテ、其ノ圓滑ヲ圖ルコトガ緊急ナル要事デアルノデアリマス、以上ニ依リマシテ、此ノ際森林火災

保險ノ普及ヲ圖ルコトガ甚ダ必要デアリ、而モ是ハ國營ニ依ラナケレバ其ノ目的ヲ達シ難イデアリマス、今回政府ハ幼齡林ノ人工造林地ニ對シマシテ、國營ノ火災保險ヲ實施シテ、再造林ヲ容易ナラシメムトセラレマスノハ誠ニ欣ビニ堪ヘストコロデアリマスルガ、政府ハ更ニ一步ヲ進メテ、此ノ國營保險ヲ壯齡林、天然林ニ擴張實施シテ、森林金融ニ資スルノ必要ノ緊切ナルヲ認メラレテ、之ガ實行ヲ切望シタイト思ヒマスガ、最後ニモウ一ツ繰返シマシテ御所見ヲ伺ヒタウゴザイマスルノハ、保險料ノ問題デアリマス、此ノ國營ノ保險料ハ、民間營業ノ普通保險ニ比ベマシテ其ノ率ガ甚ダ高率デアリマス、民間ノ營業ノ普通家屋ナドノ保險ニ致シマシテモ、其ノ率ガ二圓五十錢グラキデアリマスルニ對シマシテ甚ダ高率デアルト思ヒマスルノデ、恐ラク此ノ高率デアハ申込者ガアルカドウカト云フコトヲバ深く憂ヘルノデアリマス、前回ノ御答辯ハ、危險率ガ高イカラ是ヨリ割出シタモノデアル、今後危險率ガ下レバ下ゲテモ宜イト云フ御答辯デアリマシタガ、ソレハ何時到來致シマスルコトヤラ分ラスノデゴザイマシテ、甚ダ満足シ得ヌ御答辯デアルト思フノデゴザイマスルガ、此ノ料金ハ勅令

ニ依リマスルモノデ、絶對動かサレヌモノトモ思ヒマセヌガ、實施マデニ再検討ヲセラレマシテ、ズット御下ゲニナルトコロノ御意思ガアリマスカドウカヲ御尋ネ致シタイトデアリマス

○政府委員(村上龍太郎) 只今ノ御尋デ

ゴザイマスガ、家屋ノ火災ノ保險料ト森林ノトヲ比較シテ高イ安イト云フコトハチヨット困リマス、チヨットドウモムヅカシイノデアリマシテ、寧ロ民間ノ森林火災保險ノ料率ト、國營ノ料率トヲ御比ベニナラスト、チヨット比較スルモノガ違ヒマスカラ困ルノデアリマス、民間ノ森林火災ノ保險料率カラ見レバ、國營ノ方ガ大體安クナッテ居リマス、ソレデ私共ノ考ト致シマシテモ、此ノ森林業者ノ負擔ヲ成ルベク輕クシタイト云フコトハ、是ハモウ始終念頭ニ置イテ居ルコトデゴザイマシテ、昨日モ御話ヲ申上ゲマシタヤウニ、出來ルダケ森林火災ガ起キナイヤウニ又起キテモ大キナ被害ガナイヤウニ、即チ森林火災ノ豫防等ニモ力ヲ入レマシテ、森林ノ危險率ヲ引下ゲルコトニ努力ヲ致シタイト考ヘテ居リマスルシ、又此ノ保險ノ實施ノ結果、又經驗カラ出テ來ル色々ナ材料等ヲ斟酌致シマシテ、出來ルダケ料率等ニ付テモ森林業者ノ負擔シ易イ

ヤウニ致シタイトデゴザイマス

○山本米三君 只今ノ御答辯ハ我々ノ考ト

出發點ガ少シ違フノデアリマス、勿論御說明ノ如ク、民間ノ森林ニ對スル保險料ニ比較致シマスレバ、政府ノ案ハ低イノデハゴザイマスルガ、是ハ危險ト云フコトヲバ割出シテ森林ノ保險率ガ高イノデゴザイマスルノデ、其ノ危險ト云フコトヲバ先ヅ政府デハ取除ケテ御考ヲ願ヒタイト云フノガコチラノ意思デアリマス、少シク其ノ點ニ對スル御考ガ違フノデアラウト思フノデアリマスガ、兎ニ角何レニ致シマシテモ、是デハ申込ガアルカドウカト云フコトヲ我々ハ心配ヲ致シマスルコトデゴザイマスルノデ、是ハ絶對的ノ御割出シデゴザイマスルカ、實施マデニハ之ヲ一ツ下ゲテヤラウカト云フ御意思ガ御アリニナルノデゴザイマセウカ、其ノ邊ヲモウ一應御伺ヒ致シタイトデス

○政府委員(村上龍太郎) 此ノ料率ハ、

實施マデニ變更スルト云フコトハ是ハ出來マセヌノデス、唯特ニ危險ノ多イ地域ハ、或ハ危險ノ少イ地域ニ於キマシテ、實行保險料ト云フモノハ斟酌ヲ加ヘマスケレドモ、此ノ料率ト云フモノハ之ヲ變ヘル譯ニハ參リマセヌ

○山本米三君 私人質問ハ是デオ終ヒニ致シマス

○侯爵小村捷治君 昨日水産局長ニ希望ノ

アル點ヲ申上ゲテ置キマシタノデスガ、其ノ後民間ニ於キマシテ現レテ居ル海難保險ノ點ニ付テ當局デ御調べガツイタヤウデゴザイマスカラ、之ニ付テノ正確ナル御説明ヲ承ツテ置キタイト存ジマス、ト申シマスノハ、先日來各委員ヨリ、漁業日本國トシテ最モ重大ナ漁民ノ生命ニ關スル保險、其ノ他ノ施設ノ有無ニ付キマシテ非常ニ御議論ガアツクヤウデゴザイマスノデ、假令小規模ナリトハ言ヘ、民間ニ於テ既ニ斯クノ如キコトガ行ハレテ居ルト云フコトヲ皆サン御了承ニナルダケデモ幾分ノ御満足ト存ジマスルカラ、特ニ此ノ點ヲ水産局長ニ御願ヒシタイト存ジマス

○政府委員(原辰二君) 只今小村侯爵ヨリ

御話ノゴザイマシタ民間ニ於キマシテ漁業者、漁業従事者ニ對スル此ノ保險ノ實施ノ狀況ニ付テ御話ヲ申上ゲタイト思ヒマシタガ、此ノ際チヨット私カラ此ノ機會ニ御斷リヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマスコトハ、先般小村侯爵ノ此ノ民間デ漁業者ニ對スル保險制度ヲ實施シテ居ルモノハナイカト云フ御尋ネノアリマシタ際ニ、私民間ノ方デ

ハ全然ゴザイマセスト云フ實ハ御答ヲ申上  
ゲタノデアリマスガ、其ノ際ニ小村侯爵カ  
ラ、尙、峰友ト云フ小村サンノ御知り合ヒノ  
方デ現ニヤッテ居ル人ガアルヤウデアアルカ  
ラ、ソレモ調ベテ見ルヤウニト云フ御話モ  
ゴザイマシタ譯デゴザイマシタガ、アノ時  
ニ私民間ノ方ニハゴザイマセスト申シマシ  
タノハ、其ノ以前ニ松村サンカラモ御尋ネ  
ノゴザイマシタ際ニ、漁業者ニ對スル此ノ  
保險ノ制度ハ、一般ノ普通ノ生命保險ヤ傷  
害保險ノ制度ハイカスト思フ、特殊ノ制度  
ヲ設ケテ行カナケレバナラヌト思フト云フ  
御話モゴザイマシタノデ、サウ云フ意味ノ  
漁業者ニ對スル特殊ノ保險制度ト云フモノ  
ニナリマスト云フト、現在ノトコロ無イヤ  
ウニ考ヘマシタノト、ソレカラモウ一ツハ、  
小村侯爵ノ御話ノゴザイマシタ峰友ト云フ  
方ノ名前ヲ私偶、存ジ上ゲナカッタモノデ  
ゴザイマスカラ、ソレデ承知致シマセスト  
云フコトヲ申上ゲタ譯デゴザイマシタガ、  
段々其ノ後局内デ聽イテ見マスト云フト、  
小村サンノ御話ノゴザイマシタ峰友ト云フ  
方モ、漁業者ノ爲ニ非常ニ御同情ニナッテ一  
種ノ漁業勞務者ニ對スル海難ノ保險ヲヤッ  
テイラッシュナル、マダ其ノ他ニモ或會社デ北  
洋漁業ノ従事者ニ對スル傷害ノ保險ヲヤッ

テ居ルモノモアルト云フヤウナコトモ大體  
分ッテ居ッタ、ト云フコトガ分リマシタヤウナ  
譯デゴザイマシテ、ソレデ現在ノ所謂民間  
ノ漁業者、漁業従事者ニ對スル救護施設ヲ  
致シテ居リマスル施設ノ極ク概要ヲ纏メマ  
シテ、御手許ヘ御覽ニ入レルヤウニ致シテ  
置キマシタカラ御覽戴ケルト思ヒマスガ、  
ソレニ付キマシテ極ク概要ヲ申上ゲマスレ  
バ、先ヅ第一ニ小村サンノ御話ノゴザイマ  
シタノハ、峰友ト云フ方ガ主トナッテヤッテ  
オイデニナリマスノハ、此ノ共同火災保險  
株式會社ト云フ火災保險會社デ、實ハ其ノ  
火災保險ノ附帶ノ事業トシテヤッテ居ラレ  
ルト云フ事情デゴザイマス、デ其ノヤリ方  
ハ、其ノ保險金額モ大體一人ニ付テ二千圓  
ト云フ大體均一ノ取扱ヲヤッテ居リマス、二  
千圓ニ對シマシテ、又其ノ保險料モ均一ニ  
二圓拂ヘバ、千圓ニ付イテ二圓デゴザイマ  
スガ、千圓ニ付テ二圓ノ均一料率デ以テ御  
扱ヒニナッテ居ラレル、サウシテ漁業又ハ漁  
業従事者ガ死亡スル場合、行方不明トナッタ  
場合、ト云フヤウナ場合ニハ、此ノ死亡ニ  
對シマシテハ保險金額ノ全額ヲ拂フ、ソレ  
カラ兩眼ノ視力ヲ失ッタトキ、兩腕ヲナクシ  
タトキニハドウ、兩足ヲナクシタトキニハ  
ドウ、片腕ヲ失ッタトキニハドウ、又片足ヲ

失ッタトキニハドウ、ト云フ風ニ、サウ云フ  
風ナ大體ノ場合ニ保險金額ノ全額ヲ御拂ヒ  
ニナル、輕微ナ負傷ノ程度ニ止ル場合ニハ  
保險金額ノ半額ヲ拂フ、斯ウ云フ式デヤッテ  
居ラレマスノデ、ソレデ是ハ實ハ保險トシ  
テヤッテハ居ラレマセスケレドモ、只今申上  
ゲマシタヤウニ保險料モ千圓ニ付イテ二圓  
ト云フ均一ノ保險料デ御扱ヒニナッテ居リ  
マシテ、嚴格ナル意味ニ於テ傷害率デアリ  
マストカ、危險率デアリマストカ云フモノ  
カラ割出シタ保險料ト云ッテ御扱ヒニナッテ  
居ル譯ヂヤナイ、ト云フ點ニ於キマシテ、  
極クヤカマシク申シマスト云フト、嚴格ナ  
意味ノ保險ニ當嵌マルカドウカト云フコト  
ガ多少疑ハシクナル譯ナンデアリマス、ソ  
レデ其ノ峯友ト云フ方ハ、出來得ルナラバ  
共同火災保險會社トハ別ノ會社デ、此ノ漁  
業者ノ海難保險ヲ獨立ノ會社デヤリタイ、  
ト云フ御希望モアツタヤウデゴザイマスガ、  
只今申上ゲマシタヤウニサウナリマス  
是ハ保險ナリヤ否ヤト云フ問題モ起リ、商  
工省ノ方デモ認可サレルカドウカト云フコ  
トガ多少疑ハシイノデ、サウ云フ面倒ナ問  
題ヲ避ケテ、成ルベク簡便ニ漁業者ノ爲ニ  
サウ云フ一應ノ施設ヲシテヤリタイト云フ  
御趣旨カラ、便宜上共同火災保險株式會社

ノ附帶事業トシテヤッテオイデニナル、斯ウ  
云フ事情ダサウデアリマス、是ハ昭和九年  
カラ仕事ヲ御始メニナッテ居リマシテ、只今  
申上ゲマシタヤウナ料率ニ依リ又保險金額  
ニ依ッテ御扱ヒニナッテ居ルノデアリマスガ、  
此ノ成績ヲ伺ッテ見マスト云フト、昭和九年  
ノ最初ノ年ニハ契約シタ人が二千人カラアッ  
タサウデアリマスガ、此ノ保險料ノ收入ガ  
四千圓、ソレニ對シマシテ實際保險金ヲ御  
拂ヒニナッタノガ七萬圓カラアリマシテ、差  
引六萬六千圓バカリ御損ヲナスッタ、ソレカ  
ラ其ノ次ノ昭和十年度ニ於キマシテハ、契  
約シタ漁業者ガ三千人ニ殖エマシタガ、其  
ノ收入ガ六千圓、其ノ保險料ノ支拂ヲナスッ  
タノガ四萬圓デ、此ノ年モ差引三萬四千圓  
バカリ御損ヲナスッタ、ソレカラ昭和十一年  
ノ成績ハ大分恢復ヲシテ居ラレマシテ、  
契約ヲ致シマシタ漁業者ノ數モズット殖エ  
マシテ、此ノ施設ガ非常ニ漁業者ニ對シテ  
結構ナ施設デアルト云フコトガ段々解ッテ  
參ッテ結果ト思ヒマス、其ノ數ガ四萬人カラ  
ニナッテ居リマス、其ノ收入ガ從ッテ八萬圓  
モアリ、サウシテ實際保險金ヲ御拂ヒニナッ  
タノガ十萬圓デゴザイマスルカラ差引二萬  
圓バカリ損ヲナスッタ、斯ウ云フコトニナッ  
テ居ルノデアリマス、ソレデ峯友サンノ御

話デハ、元々は儲ケ仕事トシテヤツタ譯  
 デモナク、又儲ケ仕事トシテ是ハ考ヘテハ  
 ウマクヤレルカドウカ自分トシテモ疑問ヲ  
 持ツタクラキモノデ、謂ハバ損ハ覺悟ノ前  
 デ致シタノデアルガ、今マデニ十二三萬圓  
 ノ「マイナス」ニナツテ居ル、併シ自分トシテ  
 ハ將來モ一ツカノ續ク限リハ、又外ニ良イ制  
 度ガ立テラレルマデハ是デヤツテ行カウト  
 思フ、ト云フ大變漁業者ニ對シテ御同情ノ  
 アル御取扱ヲ爲スステイラシヤルコトガ明  
 瞭致シマシテ、私共モ其ノ意味ニ於キマシ  
 テ大イニ感謝ラシテ居ル譯デゴザイマス、  
 峯友サンノヤツテイラシヤル御事業ハ大體  
 サウ云フヤウナ模様デゴザイマス、ソレカ  
 ラ其ノ外ニモウ一ツ中央火災傷害保險株式  
 會社ト云フ會社ガゴザイマシテ、此ノ會社  
 デモ多少此ノ漁業従事者ノ傷害保險ヲ御扱  
 ヒニナツテ居リマス、但シ是ハ北洋漁業ノ従  
 事者ニ限ツテ居ラレマス、北千島、樺太、「カ  
 ムサッカ」ノ東西沿岸、其ノ邊へ出掛ケマス  
 漁夫、漁雜夫、工船ノ乗務員其ノ他ノ漁業  
 従事者ニ對シテ契約ヲスルト云フ建前デヤツ  
 テ居ラレルノデアリマス、此ノ保險モ大體  
 一漁期毎ニ御扱ヒニナルト云フヤリ方デア  
 リマシテ、一人ニ付テ保險金額ハ大體二百  
 圓見當カラ始リマシテ、最高五百圓ト云フ

御扱ヒノヤウデアリマス、但シ一時漁場ノ  
 視察ノ爲ニ乗船ヲスルト云フ風ナ特殊ノ場  
 合ニハ、事情ニ依ツテハ千圓マデ契約ヲスル  
 コトモアルト云フ風ニナツテ居ルヤウデゴ  
 ザイマス、サウシテ保險料モ四箇月以内ニ  
 契約ノ場合ナラバ、一圓二十錢乃至二圓見  
 當マデノ間デ決メル、六箇月以内ノ多少長  
 イ期間ニ互リマスト云フト、一圓五十錢カ  
 ラ三圓位マデノ間ノ保險料金デ御扱ヒニナツ  
 テ居ル、サウシテ此ノ場合デモ矢張り死亡、  
 兩眼ノ視力又ハ手足ノ中ニ一肢ヲ失ツトキ  
 ニハ保險金ノ全額ヲ拂フ、腕、足、眼デア  
 リマストカ、指デアリマストカト云フ風ナ  
 モノノ一ヲ失ツタ場合ニハ、保險金額ノ百分  
 ノ六十乃至百分ノ十見當マデ拂フト云フ風  
 ニ、色々區分ラシテ御扱ヒニナツテ居ルヤ  
 ウデゴザイマス、是モ最前申上ゲマシタヤ  
 ナウ嚴格ナ意味ニ於キマシテ保險デアルカ  
 ドウカト云フ疑問ハアルヤウデゴザイマス  
 ガ、ソレデアリマスカラ、一般ノ火災傷害  
 保險ノ附帶ノ事業ト致シマシテ、北洋漁業ノ  
 従事者ニ對スル何ト申シマスカ、附タリノ  
 仕事トシテヤツテ居ル、斯ウ云フ狀況デゴザ  
 イマス、此ノ中央火災傷害保險ノ只今申上ゲ  
 マシタ北洋漁業従事者傷害保險ノ實績ハ、  
 大體ドレ位毎年扱ツテ居ラレルカト云フ點

モ調ベタイト思ヒマシタガ、マダ只今御話  
 ラ申上ゲルマデニハチヨット間ニ合ヒマセ  
 スノデ、又後ホド一ツ能ク調べテ置カウト  
 思ヒマス、會社ト致シマシテ兎ニ角漁業従事  
 者ノ爲ニ傷害、死亡等ノ場合ニ保險的ノ施設  
 ラヤツテ居リマスノハ、只今申シマシタ二ツ  
 ノ會社ガアルダケノヤウデゴザイマス、其ノ  
 外ニハ、先般モチヨット申上ゲタカト思ヒ  
 マスガ、斯ウ云フ施設ガ非常ニ貧弱デア  
 ル爲ニ、或ハ當業者ガ御互ニ相寄りマシテ、  
 此ノ共濟的ニ、遭難シタ場合ニ葬儀費用ノ  
 幾分ヲ補助シ合フトカ、香奠ヲ出シ合フト  
 カ云フ趣旨デ以テヤツテ居ルモノガ多少ゴ  
 ザイマシテ、例ハバ道府縣水産會デヤツテ  
 居リマスモノガ會ノ數ハ大體二十二三ゴザ  
 イマスガ、此ノ二十二三デサウ云フ遭難救  
 恤ノ爲ニドレ位金ヲ使ツテ居ルカト申シマ  
 スト云フト約七千圓位ノ僅少ナ程度ニ止ツテ  
 居リマス、ソレカラ此ノ漁業組合、漁業組  
 合聯合會、ソコデモ遭難救恤ノ事業ヲ多少  
 ヤツテ居ルモノモゴザイマシテ、其ノ組合ノ  
 數ハ二百六十七八アルヤウデゴザイマス、  
 デ其ノ經費ガ四萬四千圓バカリゴザイマス、  
 漁業者全體ノ數ノ上カラ見マスト云フト  
 非常ニ輕少ナモノデアルコトハ申上ゲル迄  
 モナイト思ヒマスガ、尙此ノ外ニ只今ノ所

デハ一般的ノ公共的ナ、極ク廣イ意味ノ公  
 共的ノ施設トシテハゴザイマセスケレドモ  
 水産組合、例ハバ露領水産組合デゴザイマ  
 ストカ、母船式ノ蟹工船ノ水産組合デゴザ  
 イマストカ、「トロール」ノ水産組合デア  
 リマス、或ハ機船底曳網ノ水産組合、ソレ  
 等デモ此ノ組合々々多少ヤツテ居リマス、  
 其ノ中稍、制度ノ整ツテ居リ又相當積立金モ  
 有ツテヤツテ居リマスノハ、御承知デモアラ  
 ウト思ヒマスガ露領水産組合ノ救恤ノ施設  
 デゴザイマシテ、是ハ御承知ノ通りニ露領  
 ノ「カムサッカ」ヘ參リマシテ漁業ヲ致シマス  
 關係上、御承知ノ通りニ「ロシア」ハ勞働者  
 ノ保護ト云フコトガ非常ニヤカマシイ所デ  
 ゴザイマスカラ、露領ヘ來テ漁業ヲスル以  
 上ハ、大體ニ於テ「ロシア」ニ於ケル勞働者保  
 護ノ施設ニ大體副フヤウナ施設ヲヤルモノ  
 デナケレバイカスト云フヤウナコトヲ申ス  
 關係上、露領水産組合デサウ云フ施設ヲ致  
 シテ居ル譯デゴザイマスガ、此ノ露領ニ參  
 リマス漁業従業者ノ數モ大體二萬人カラゴ  
 ザイマスノデ、是等ノ者ノ爲ニ露領水産組  
 合ガ救恤ノ爲ニ積立テテ居リマスモノガ、  
 現在約六十萬圓ホドゴザイマス、之ヲ以テ  
 毎年「ロシア」ノ大體此ノ承認ヲ得ル程度ノ  
 救恤ノ事業ヲヤツテ居ルト、斯ウ云フコトニ

ナツテ居ル譯デゴザイマス、デ大體只今申上  
ゲマシタヤウナ遭難救恤ノ施設ガアルダケ  
デゴザイマシテ、此ノ一般的ノ施設ト致シ  
マシテハ、甚ダ貧弱極ルト申シマスカ何ト  
申シマスカ、率直ニ申上ゲマスレバ僅カニ  
此ノ程度ノ施設シカナイト云フ現狀デゴザ  
イマス

○侯爵小村捷治君

私只今色々御話ヲ承  
リマシテ驚キ入ッタノデゴザイマスガ、先日  
來民間ニ於テハ斯クノ如キ施設ガナイト云  
フ御話デアッタノデ、偶々知人デドウモサウ  
云フ事業ラシテ居ルノデヤナカラウカト、  
私ハ個人的ノ知り合ヒデアリマスケレド  
モ……事業ノコトハ何モ存ジマセヌガ、ド  
ウモ腑ニ落チマセヌノデ質問ニ參ッタノデ  
アリマス、サウシテ此ノ事情ガ分リマシテ、  
其ノ爲ニ當局デモ特ニ斯ウ云フ印刷ヲサレ  
且御説明ガアルニ至ッタノデゴザイマスル  
ガ、殊ニ此ノ最初ノ「漁業勞務者海難保險  
要領」ト書イテアル所ヲ見マシテ、實ニ是ハ  
全ク損失ヲ度外視シテヤッテ居ラレマス、是  
ハ私ハ知人デアリマスルガ故ニ名前ヲ擧ゲ  
ルノデハゴザイマセヌケレドモ、私此ノ間  
實ハココノ會ニ出タ後初メテ此ノ事業ノコ  
トヲ訊キニ參ッタノデアリマス、サウシテ峯  
友氏ハ義侠的ニ又獻身的ニ唯一個ノ財産デ

ヤッテ居ルノデアリマス、今ノ御説明ニ依リ  
マスト共同火災ノ事業ト云フコトニナッテ  
居リマスケレドモ、ソレノ形ノ問題デ、實  
ハ私財ヲ抛ッテヤッテ居ル、ソレガスツカリ  
分リマシタ、豫テカラ人格者トハ思ッテ居  
リマシタケレドモ、斯ウ云フコトヲヤッテ  
居ルノダト云フコトヲ聽イテ私ハ涙ガ零レ  
ルホド有難ク思ッタノデス、是ハドウシテモ  
申サナケレバナラスト思ッテ、コナラデ申上  
ゲタノデアリマスガ、皆様モ例ヘバ井上男爵、  
松村サン、皆サン非常ニ熱烈ニ此ノ點ニ御  
憂慮ノ御意見ノ御發表ガアッタノデアリマス、  
私モ議員トシテ是ハ矢張り御報告シナケレ  
バナナルマイト思ッタモノデスカラ申上ゲタノ  
デゴザイマスガ、斯カル公益事業ト申シマス  
カ、モウ殆ド任侠ト言ッテモ宜イ程度ノ  
コトヲヤッテ居ル方ニ對シテハ、十分ナル助  
長獎勵或ハ適當ナ援助ヲ政府ノ方デナサル  
御考ガアルヤ否ヤ、ソレヲ伺ヒタイノデア  
リマス、モウ一ツ申上ゲタイコトハ、是ハ  
誠ニ詰ラヌコトデハゴザリマスルガ、是ハ  
我々ノ心理的ナ問題ト致シマシテ、此ノ刷  
リ物ニ「漁業者又ハ漁業従事者救護施設概  
要」トアリマシテ、誰ガヤッテ居ルト云フコ  
トヲ書イテゴザイマセヌ、最後ノ道府縣水  
産會デ十分ヤッテ居ルト云フコトハ分ッテ居

リマスガ、是ハ矢張りモウ少シ斯ウ云フ篤  
志家ニ對シテハ、誰ガ斯ウヤッテ、誰ガドウ  
ト、少ナクモ斯ウ云フ會社ガヤッテ居ルト云  
フコトハ、今オ刷リ物ヲ戴イテ分ッタノデア  
リマスガ、此ノ刷リ物ヲ單ニ貫ヒマシタダ  
ケデハ、誰デモ政府ガヤッテ居ルトシカ思ヘ  
ナイ、之ヲモウ少シヤッテ戴カヌト、國費多  
端ノ折柄デ政府ガ行キ届カヌカラ已ムラ得  
マセヌケレドモ、民間ニ斯クノ如キ義人ガ  
アリ、中ニハ營利的ニヤッテ居ル人モアルカ  
モ知レマセヌガ、少ナクモ私ガ知ッテ居ル  
人ハ左様ナ考デヤッテ居ラヌコトハ、僅カニ  
三年間ニ一個人ノ資財ヲ抛ッテ十何萬圓ト  
云フ損害ラシテ居リナガラ尙拮据經營シテ  
居ルト云フ事ダケデモ、少シ御獎勵ニナッテ  
モ然ルベキコトデアル、斯ウ云フ事ニ對シ  
テハ、少ナクモドノ會社ガドウヤッテ居ル、  
誰ガドウヤッテ居ルト云フコトハ、民間ニ於  
ケル……ト云フクラキノ事ハ正直ニ此處ニ  
御書キニナッテ然ルベキモノダト思ヒマス、  
デ斯ウ云フ政府ノ手ノ届カヌ所ハ、矢張り  
民間ノ有志家ニ對シテハ保護獎勵サレルト  
云フ御氣持ニナッテ戴キタイ、是ハ希望デゴ  
ザイマス、尙斯ウ云フ保險ニ付テノ立法ハ或  
ハ當分間ニ合ハナイノカモ知レマセヌケレ  
ドモ、或ハ是ダケデモドレダケノ人ヲ助ケテ

居ルカト云フコトハ此ノ數字デ分ッテ居リ  
マス、一義人ガ斯クノ如ク漁民ヲ助ケテ居  
ルノニ、政府ガ斯ウ云フコトヲヤッテ居ルト  
云フコトハ恥シイコトデハナイカト思ヒマ  
スケレドモ、ソレヲ御答メスルノデハゴザ  
イマセヌガ、斯ウ云フ公益的ノ事業ニ對シ  
テハ十分ナル保護獎勵助長ト云フコトヲ當  
分ナリトモ、政府ニ於テ御經營ニナル迄ハ、  
斯ウ云フコトノ保護獎勵ト云フコトノ御考  
ガアリヤ否ヤ、此ノ點御明答ヲ願ヒタイト存  
ジマス、ソレカラ私ガ此ノ間伺ヒマシタノハ、  
保險ト云フコトニコダワッテ申シタノデハナ  
クテ、漁業者ノ海難ニ付テノ何カ保險的ナ  
施設ガアルカト云フコトヲ申シタノデゴザ  
リマシテ、嚴密ナ意味ニ於テ、是ガ保險デ  
アラウトナカラウト、左様ナコトヲ私ハ今  
論ジテ居ルノデハナイ、左様ナコトヲ此ノ  
場合仰セラレル必要ハナイト思ヒマス、漁  
民ハ殆ド知識程度ガ低クテ、自己ノ意思ヲ  
發表スル能力ガナイ程ノ漁民ヲ、黙ッテ捨テ  
テ置クト云フコトハ氣ノ毒ニ思ヒマスルノ  
デ、已ムラ得ズ申上ゲタ次第デアリマス、  
今後ノ御方針ニ付テ簡單ニ御答辯ヲ願ヒマ  
ス

○政府委員(原辰二君) 漁業者ノ救恤ニ付  
キマシテハ、モウ先般來多數ノ方カラ御話

モゴザイマシタガ、只今又小村侯爵カラ御話ノゴザイマシタ通り、是ハ漁船ノ保險ヨリモ、寧ロ人ニ對スル救恤ノ施設ヲ先ニナケレバナラス、順序ガ寧ロアベコベダト云フ風ナ感じラ私自身モ致シテ居ルノデアリマス、唯此ノ漁船ノ保險ノ制度ノ方ガ準備ガ先ニ出來マシタ關係上、茲ニ先ニ提案ヲ致シタト云フニ過ギマセヌノデ、此ノ漁業者ノ救護ニ關スル施設ハ是ヨリ一段ト力ヲ入レマシテ、一日モ早く適當ナ施設ヲ講ジナケレバナラスト斯様ニ考ヘテ居リマス、御話ノ如ク此ノ保險ト云フヤウナ、何ト申シマスカ、非常ナガツチリシタ制度バカリヲ考ヘテ居リマシテハ、ナカノ實施迄ノ準備時間モ掛ルト云フ關係モゴザイマセウカラ、是モ御意見ノ如ク、斯ウ云フ保險ノ制度ト云フモノガ究極ニ於テヤラナケレバナラスト致シテモ、ソレノ出來ル間、便宜ノ方法ニ依リマシテ足ラザルトコロヲ補ヒ、必要ニ應ジテ行クヤウニ考ヘテ行カナケレバナラスト、左様ニ考ヘマシテ、御趣旨ノ點ハ十分ニ今後トモ氣ヲ附ケテ參リタイト思ヒマス

テ、保護、獎勵助長等ノ御計畫ガ今御アリカドウカト云フコトヲ伺ツタノデス  
○政府委員(原辰二君) 小村サンノ御趣旨モ、オ名指シノ案友某ト云フ一個人ノコトヲ勿論仰シヤル御趣旨デハナイト思ヒマス……  
○侯爵小村捷治君 勿論、サウヂヤゴザイマセヌ  
○政府委員(原辰二君) 斯ウ云フ民間ノ施設ハ十分ニ助長シテ參ラナケレバナラスト斯様ニ考ヘマス  
○白根竹介君 森林ノ方ノ問題デスガ、森林火災保險ニ付テ、北海道ヲ區域カラ除外シテ居ルト云フコトニ付テ、少シ問題ガ殘サレテ居ルヤウナ氣ガスル、ソレデアリマスカラ、少シ北海道ノ事情ヲ伺ツテ置イタ方ガ宜イト考ヘマスガ、内務省又ハ北海道廳ノ政府委員ニ出席シテ戴キマシテ、御話ヲ承リタイト思ヒマス  
○委員長(伯爵堀田正恒君) ソレハ晝カラデ宜シウゴザイマスカ  
○白根竹介君 ドチラデモ宜シウゴザイマス  
○委員長(伯爵堀田正恒君) ソレデハ午後ハ一時カラニ致シマス、休憩致シマス  
午後零時一分休憩

午後一時十六分開會  
○委員長(伯爵堀田正恒君) 午前ニ引續キマシテ是ヨリ開會致シマス  
○子爵野村益三君 私ハ漁船保險法案ニ付テ改メテ御尋ラシテ見タイト思フノデアリマス、漁船保險法ハ業界數年來ノ宿題デアリマシテ、漸ク此ノ際ニ提案サレタコトハ業界ノ等シク感謝措ク能ハザル所デアアルノデアリマス、申スマデモナク本案ハ社會的ノ意味ヲ持ツテ居ルノミナラズ、經濟的ニモ産業的ニモ至大ノ影響ヲ及スベキモノデアリマシテ、業界ニ取ツテハ極メテ重大ナ法案デアアルノデアリマス、唯私ドモノ聊カ當局者ノ御話ヲ承ツテ其ノ意ヲ明カニシテ置キタイコトハ、所謂本法ノ受入ル、漁船ノ大キサニ關シテデアリマス、勿論小ハ數「トシ」ノモノカラト云フコトデアリマスガ、御承知ノ如ク、段々此ノ業界ノ漁船ノ型竝ニ大キサト云フモノガ進歩シテ來マシテ、其ノ大キサモ漸次増大スルト云フ傾向デアアル、又サウナクテハナラスノデアリマス、勿論本法ノ趣旨ハ中小漁業者ノ爲メ中小漁船ニ向ツテ主トシテ均霑セシムルト云フノガ主眼デアリマスルケレドモ、只今申上ゲタ業界ノ趨勢カラ鑑ミテ、多少此ノ大キサモノニ伺ツテモ考慮ヲ拂ハナケレバナラスト思ヒマス

ス、勿論大キイト申シマシテモ數千「トシ」ト云フヤウナコトハ我々モ考ヘテハ居リマセヌ、唯問題トナルノハ多少此ノ遠洋漁業ト云フ方面ニ使ハレテ居ル船ノ種類デアリマス、或ハ數「トシ」以上數百「トシ」ト云フ範圍デアリマスガ、之ヲ閉却スルト云フコトハアルマジキコトト思フ、サッキ申上ゲタ本法施行ノ主眼ニモ反スルモノト思フノデアリマス、勿論此ノ間ノ當局ノ御話モ承リマシタガ、其ノ御話ノ一節ニ我々共ノ不滿ヲ感ズル點ガアルノデアリマス、多分斯ウデアッタト思ヒマス、比較的大キイ漁船デ現ニ保險會社ノ保險ヲ契約シツ、アルモノ、サウ云フモノノ種類ニ向ツテハ考慮シテナイト云フヤウナ御言葉ガアツタ、サウシマスルト、只今申上ゲタヤウナ我々ノ不滿ガ起ルノデアリマス、其ノ邊ヲモウ少シ明確ニ致シテ置キタイト云フノガ私ノ御尋ネノ趣旨デアリマス、ソレデ勿論中小漁船ヲ主眼トスル、申セバ百「トシ」以上數百「トシ」ノモノニ對シテモ特別ノ考慮ヲ要スル、斯ウ云フコトデアアルベキト思ヒマス、其ノ特別ノ考慮ト云フノハドウ云フコトカト申セバ、私ハ斯ウ云フ風ニ考ヘタラ宜カラウト思ヒマス、ソレハ現ニ外ノ保險會社デモ取扱フガ、其ノ手續ガ非常ニ面倒ダ、ア、云フ面

○侯爵小村捷治君 ソレデ私ノ伺ツタ點ハ、立法マデノ運ビニ到ル前ニ、民間ニ於テ斯ノ如キ義侠的ナ事業ヲヤツテ居ル人ニ對シ

午後零時一分休憩

倒ナラバモウイツソ保険ヲ掛ケルコトハ御免蒙ルト云フヤウナ事情ガアリ、或ハ保険料率ガ頗ル高い、サウドウモ高い保険料率ヲ拂フナラバ止メヨウ、ヤリタクテモヤレナイヤウナ場合、斯ウ云フノガ特別ノ場合ト思フノデアリマス、言葉ヲ換ヘテ申スト、保険手續ノ適當デナイ、ソレカラ保険料率ノ著シク高い場合、斯ウ云フ場合デアルナラバ、此ノ百「トン」以上數百「トン」ノ漁船デモ本法ニ依ッテ考ヘテ見ル、斯ウ云フコトデアレバ至極業界ノ希望モ達成セラレ、法モ餘程滑ラカニ行クト思フ、其ノ點ニ付テ改メテ當局ノ御話ヲ承ッテ見タイ、斯ウ思フノデアリマス

○政府委員(原辰二君) 漁船保險ノ保險ヲ掛ケルモノノ適用範圍ニ付テ、只今野村子爵ノ御尋ノ點ハ、野村子爵ノ御話ニナリマシタヤウニ私共ノ方デモ考ヘテ居ルノデアリマス、言ヒ換ヘマスト云フト成ルベク、小漁船ガ數ニ於テ非常ニ大部分ヲ占メテ居ルト云フ現状ニ鑑ミマシテ、サウ云フ小サイモノヲ原則トシテ扱フ、併シナガラ一「百」トシ以上ノ如キ稍、大型ノモノデアッテモ、野村サンノ御尋デニナリマシタヤウニ、民間ノ保險料デハ非常ニ料率ガ高クテ保險ニ掛ケタクテモ掛ケラレナイ、或ハ保險ニ

付ケ得ルトシマシテモ容易ナコトデナイ、又手續其ノ他ガ非常ニ煩雜デアル、漁船保險デヤレバ此ノ方ガ簡便ニ行クト云フ風ナ場合ニハ、數百「トン」ノ船デモ例外的ニ扱フト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、唯千「トン」以上ノ船ニナルト云フト、船ノ數モ非常ニ少クナリ、又海上保險會社等ノ又立場ヲ考慮スル上カラ見マシテモ、又此ノ兩法案ノ漁船保險ノ制度ト致シマシテモ、却ッテ適當デヤナカラウ、斯様ニ考ヘマスノデ、一千「トン」ヲ超エル極ク大キナモノハ民間ノ海上保險會社ニ大體委セマシテ、此ノ保險デハ扱ハナイ、千「トン」以下ノ船デアレバ全部扱フ、但シ此ノ主眼ヲ成ルベク小サナモノヲ主トシテ考ヘル、サウ云フモノヲ原則ニシテ考ヘテ參ルト云フ風ニ考ヘテ居ル譯デアリマス

○松村眞一郎君 昨日一應質問ハ此ノ程度ト云フコトヲ申上ゲタノデアリマスガ、新シイ質問ガ起ッテ參ルト云フト、矢張り聯關シテ御尋ネシタイト云フ關係ガ生ジマスカラ、ソレダケ御許シテ願ヒタイト思ヒマスマス  
○委員長(伯爵堀田正恒君) 宜シウゴザイマス  
○松村眞一郎君 只今ノ點ニ關係致シマシテ水産局長ニ御尋ネ致シタイトノハ、今日御

配布ニナリマシタ漁船保險組合設立豫定地ト云フモノヲ數ヘルト云フト四十ニナッテ居ル譯デスネ、サウシテ初メノ計畫ノ三十四ニ大體改メテ來タト云フノデアリマセウカ、ソレガ今野村子爵ノ仰セラレタ點ニ私ハ關係ヲ持ッテ居ルカラ御尋ネスルノデアリマス  
○政府委員(原辰二君) 今朝ホド御配布致シマシタ豫定地、組合ノ設立豫定地ノ方ハ、御話ノ通り全體四十バカリニナルノデゴザイマスガ、是ハ昭和十二年度ニ於テドウ云フヤウナ所ニ組合ガ出來ル見込アルカト云フコトヲ大體書キ現シタモノデアリマシテ、此ノ中カラ、此ノ計畫ニ依レバ三十ヲ取ッテ參リタイト、尙三十以上ニモ取り得ル場合ニハ、其ノ程度マデ出來ルモノデヤナカラウカ、斯ウ云フ意味ノ表デゴザイマス

○松村眞一郎君 此ノ表ノ最後ニ「總噸數百噸以上ノ業態別組合」ト云フコトガアリマスガ、之ガ野村子爵ノ今御質問ニナッタ點ニ觸レテ居ルノデヤナイカト思フノデスガ、初メノ三十八ハ是ハ百「トン」以下ト云フコトヲ考ヘ、後ノ二ツハ百「トン」以上ト云フ勿論例外的ト云フ數ニ現レテ居リマスカガ、サウ云フ御考ナシデアリマスカ  
○政府委員(原辰二君) 大體サウ云フ風ニ

考ヘテ居リマス  
○松村眞一郎君 サウ致シマスト云フト、此ノ百「トン」以上ハ東京ト三崎シカ出來ナイ譯デスネ、此ノ案デ見マスト東京三崎以外ノ百「トン」以上ノ船ハ、野村子爵ノ御希望ノ如クハ出來ナイ譯デスネ  
○政府委員(原辰二君) 是ハ大體此ノ十二年度ニ出來サウナモノヲ考ヘテ見マスト云フト、先ヅ此ノ東京三崎ノ邊リデアラウ、斯ウ思ヒマスノデ、又十三年度以降ノ將來ニ付キマシテハ、此ノ外ニモ出テ來ヨウカト、斯様ニ思ヒマス

○松村眞一郎君 サウ致シマスト云フト、百「トン」以下ノモノト雖モ年ヲ逐ウテ全部ニ及スノデアリ、百「トン」以上ノ例外的取扱ノ方モ年ヲ逐ウテ取扱ラスルンデアル、サウ云フコトデアルト云フト、或場所ニ於テ今野村子爵ノ御話ニナッタヤウナ、ドウモ普通ノ營利會社ニ依ッテ保險ノ目的ヲ達スルコトガ出來ナイケレドモ、組合ガ出來テ居ラナイガ故ニ、此ノ保險ノ利益ヲ受ケルコトガ出來ナイト云フ事實ガ生ズルコトハ御認メニナル譯デアリマス  
○政府委員(原辰二君) 最初カラ此ノ全部ノ組合ガ出來ナイ以上ハ、松村サンノ御話ノ如ク組合ガ出來ルマデ當業者ガ不便ヲ忍

プト云フコトハ、ドウモ已ムヲ得ナイ事實ト思ヒマス

○松村眞一郎君 サウ云フ次第デアリマスカラ、私ハ茲ニ農林省トシテ御考ニナル必要ハアルノデナイカ、ドウ云フヤウニ其ノ點ヲ是カラ改メテ行カウト云フ御考デアアルカト云フコトヲ質問致シタイノデアリマサガ、今日直ニ御答辯ハ求メテ居ナイ、其ノ私ノ意味ハ、漁船保險組合ヲ作ツテ、ソレハ船ヲ持ツテ居ル者ガ保險ヲ附ケル前ニ先ヅ組合ヲ作ラナケレバイケナイ、詰リ船ガ、組合ガ出來テカラ保險ガ附ケラレ、政府ノ再保險ガ出來ル、斯ウ云フコトニナル、サウシテ保險契約ハ船舶ヲ失フト同時ニ消滅シテシマフノデアリマスカラ、其ノ漁船組合ノ船員ガ、大キナ時化ニ遭ツテ總テ沈没シタト云フ事ガアツタ場合ニハ、當然直チニ漁船組合ト云フモノハ消滅シテシマフ、斯ウ云フコトニナル譯デス、ソレガボツ／＼サウ云フ問題ガ起レバ、是ハ船ヲ沈没サシタラ當然直チニ組合員デナクナツテシマフト云フヤウナ事態ヲ生ズルコトハ、事實上御認メニナル譯デアラウト思フ、私ハ非常ニ是ハカラカシイト思フ、私ハサウ云フコトヨリモ、個々ノ漁業者ヲシテ要求ニ應ゼシメテ、適當ナリト認メルモノハ直グ保險ニ附

シテシマフ、サウシテ傍ラ此ノ漁船保險ノ思想ヲ普及セシムルガ爲ニ、今日政府ノ考ヘラレテ居ルヤウナ組合ヲ各地ニ作ラシテ、サウシテソレニ平素保險ノ思想ノ涵養ヲスルトカ、或ハ積金ヲシテ置イテ、船ノ再建造ノ費用ニ充テルトカ云フヤウナコトニシテ置ケバ、政府ガ考ヘラレテ居ルコロノ組合ハ、サウ云フモノニ轉用シテ使用ヲナシ得ルダラウト思フ、サウスルト全國ニ直チニサウ云フ組合ヲ作ツテ一向差支ナイ、農林省ガ今考ヘテ居ラレル全國ニ二百ト云フ組合ヲ即時ニ作ルコトガ出來ル私ノ案ニ依レバ……、ソレハ必ズシモ船ヲ持ツテ居ラナクテモ宜イ、失ツタカラト云ツテソレガ組合員ヲ直グニ當然脱退スルト云フサウ云フ變則的ノモノデハナイ、ソレハ平素農林省デ世話ヲシテ保險ノコトヲ勉強サセル機關ニナツテモ宜イデセウ、或ハ積金ト云フコトモ宜イデセウ、其ノ中ノ或組合員ガ保險ヲ作ツタ場合ニ於テハ、其ノ保險料ノ世話ヲスルトカ周旋ヲスルトカ云フヤウナコトヲサシテ一向差支ナイ、ソレ即チ私ノ謂フ全國ニ互ツテノ國營保險ヲ、直營ニ直チニスレバ、到ル處ニボツ／＼要求ニ應ジテ宜イモノカラ保險ニ附ケルコトガ出來ルト思フ、政府ノ三十組合ヲ助長シヨウト云フ其ノ同

ジ金デ、全國到ル處ニ之ヲ適用シ得ルコトニナル、百「トン」以上ノ問題ニ付テモ事情事情ニ應ジテ最モ急切ナリ感ズルモノカラヤレバ宜イ、東京、三崎以外ノモノハサウ云フ利益ニ均霑セラレナイ、場合ニ依ツテハ、政府ノ計畫デアレバ十年先デナケレバイケナイト云フ變態的ノ不自由サハナイコトニナルト思フ、ドウ考ヘテモ政府ノ案ノ方ガ甚ダ不尤モデアツテ、私ノ考ヘテ居ル方ガ宜イト思フノデアリマサガ、サウ云フコトハ將來漁船保險ト云フモノヲ、私ノ考ヘテ居ルヤウナ工合ニ轉用シ得ル途モアルト思ヒマサガ、大臣ハ昨日明瞭ニ答辯サレテ居ル、十年ト云フモノハ生温イカラ案ヲ改メル、是ハ當座ノ計畫デアルト言ウテ居ラレル以上ハ、當座ノモノヲ再検討スルコトハ、私ハ即チ虚心坦懐ニ、捉ハレル所ナク、良イ所ハ即時ニ採用スルト云フコトガ必要デアラウト思フ、サウ云フ場合ニハ國營直營ト云フコトモ御考ニナルベキ必要アルト思ヒマサガ、サウ云フコトハ全然考ヘナイノデスカ、凡ソドシナコトガアツテモ、遮次無ニ漁船組合デ行クンダト、強イ確信ヲ持ツテ居ラレルノデアアルカドウカト云フコトヲ御聽キスル譯デアリマサガ、ソレハ直チニ御答辯ヲ求メル譯デアリマセヌ、私ノ意見

ヲ申上ゲテ、尙御再考ヲ煩シタイノデアリマス  
○松井茂君 森林火災保險ニ付テ少シ御尋ネ致シタイノデス、第一ハ、昨日申上ゲマシタガ、森林保險ト云フモノハ今日マダ／＼外國デモ發達ガ餘程鈍イノデ、況ンヤ我が國ノ今日ハ此ノ森林火災保險ナドハ大分距離ガ遠イノデアリマス、ソコデ餘程政府ガシツカリト此ノ思想ヲ植込ムコトガ官憲トシテ先決問題デアラウト思フ、殊ニ此ノ法案ニ依リマサルト「政府ハ本法ニ依リ森林火災保險ヲ行フ」トアルカラ、政府ノ責任ハ最モ重大デアツテ、政府ガ若シモヤリ方宜シキヲ得マセスト、將來ノ森林ニ關スル火災保險ノ上ニ於テ、一大障礙ヲ來スト云フコトニ付テ、十二分ノ覺悟ヲセネバナラスト思フノデアリマス、ソレニハ政府タルモノガ率先範ヲ示シテ、昨日モ申上ゲタ通りニ、協調的ノ精神ヲ……此ノ被保險者ハ保險ノ目的ノ所有者ニ限ラレテ居ルノデアリマスカラ、即チ山林經營者デアリマスカラ、山林經營者對政府デアリマスカラ、此ノ兩方ガハッキリト能ク此ノ法案ノ趣旨ヲ徹底セシメテ、萬ガ一、實實剛健ノ聞エヲ持ツテ居ルトコロノ山林社會ニ、此ノ剛健ナル氣風ガ弱クナルト云フコトニナルト、國民精



神作興ノ上ニ於テモ至大ノ關係ガアルノデアリマス、例ヘバ此ノ被保險者ハ山林ヲ再ビ造リ直スガ爲ニ、其ノ金額ヲ標準ニシテ此ノ保險ハ出來テ居ルノデアリマス、然ルニ山林ノ再建造ヲセナイトスルト、サウ云フ者ガ滔々風ヲ成シタ時ニ於テハ、此ノ法案ノ精神ト云フモノハマルデナクナツテ、サウシテ山林家ト云フモノニ非常ニ惡イ氣風ト云フモノガ起ルコトニナル、時代ノ進マナイ時ニハ、國家ノ權力ニ依ッテ強制保險ナンカモヤツテ宜イデアリマス、私ノ考デハ斯ウ云フマダ開ケテ居ナイ場合ニハ、再造林ト云フコトニ對シテハ、ハッキリト必要條件ニスベキモノデアラウト思フノデアリマス、衆議院ニ於テハ、農林大臣ハ其ノ問題ニ付テハソレハ條件ニハシナイ、是ハ指導精神ノ方デヤル積リヂヤト云フ御答デアッタヤウデアリマスガ、是ハ私ハ今日ノ事情カラ言ヘバ宜クナイト思ッテ居ル、假ニ必要條件トセナイマデモ、少クモ餘程サウ云フ、此ノ立法ノ精神ニ反對スルヤウナコトガイツデモアルト、惡イ方ニ傳染スレバ、法ノ精神ガナクナル、之ヲ非常ニ憂慮スルノデアリマス、元來ガ只今ノ火災保險ノ實況ハドウデアアルカト云フト、歐米ニ較ベマスト云フト、廣イ意味ノ火災保險ト云フモノ

ガ、マダ火災豫防ヤ消防ナドトノ連絡ガ非常ニ乏シイノデアリマス、斯ウ云フ實況デアリマス、況ンヤ山林火災保險ナドニ對シマスル方面ニ於テハ、非常ニ缺ケテ居ルト言ハネバナラヌノデアリマス、承レバ「フインランド」ニハ森林火災保險ノ相互會社ガ千九百十六年ニ設定サレテ、大分成績ヲ擧ゲテ居ルト云フコトヲ耳ニシタノデアリマス、所ニ依レバ「ヨーロッパ」デモ大分兎ニ角經驗ヲ持ッテ居ル、トコロガ今回ノ我が國ノ此ノ法案ト云フモノハ、人工植栽林ノミニ限ッテ保險ニ加入スルコトガ出來ルト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、又人工植栽ヲシタトコロノ立木ノミニ限ルト云フヤウナ餘程制限ガアルヤウデアアルカラ、外ノ天然林ヤ伐採シタヤウナモノハ保險ノ目的ノ以外ニナツテ居ル、斯ウ云フヤウニ考ヘテ見マス、私大變心配シマスノハ、將來政府ガ二十歳以上ノヤウナ森林ノモノモ色色ノ體驗上ニ於テ國營デヤラナケレバナラスト云フヤウナ時代ガ來ナイトモ言ヘナイ、是ハ成ルベク民間ニ委セタイノハ山々デアリマスガ、ドウモ是ハ將來分ラナイ、ドウ云フ趨勢ニナルカ、時勢ニ依ッテ國情上……果シテ然ラバ何レノ點カラ言ッテモ之ヲ實行スルノニハ今回ノ之ガ基礎ニナル、之ガ

試驗ニナル、之ヲ政府ガウマクヤルカヤラヌカト云フコトハ重大ナル關係ガアル、ソコデ私非常ニ心配スルノハ、只今申スヤウニ一般ノ火災保險會社スラモ、歐米ノヤウナ一般ノ防火問題トノ連絡研究ト云フヤウナモノガ、「アメリカヤ」「ヨーロッパ」ト比ベテ非常ニ遅レテ居ル、非常ニ遅レテ居ル、況ンヤ山林火災保險ニ於テオヤ、ソコデ此ノ私ガ御尋ネ致シタイト思フノハ、森林保險法ノ第一條ニ依リマシテ政府ガ本法ニ依リテ森林火災保險ヲ行フ以上ニハ、マア第一ニ官憲トシテハ農林省ガ非常ニ責任ガアル、又保險ノ申込書ト云フモノト保險料ト云フモノハ府縣廳ニ之ヲ送ルコトニナツテ居ル、サウスルト府縣廳ガ矢張り府縣ノ是等事務ヤアルノデアアル、ソレカラ保險契約ノ申込ハ市町村當局デ之ヲヤル、官憲ガ斯ウ云フコトヲヤルト云フコトハ、サウデナクテモ兎角形式ノ弊害ニ陥リ易イノデアリマス、茲ニ此ノ法案ヲ一ツ行ハフト思フ以上ニハ、農林省トシテ又府縣廳トシテ、市町村當局トシテ餘程ノ御決心ガナクチャナラナイ、例ヘバ此ノ法案ノ趣旨ヲ十二分ニ徹底セシメルヤウニ講習會ナドヲ行ッテ、サウシテ此ノ係リナンカニ於テ餘程頭ニ入レテ置クト云フヤウナコトガ最モ必要デアラウ、之ガ失敗シタラ大變

デアアル、斯ウ云フヤウナコトニ付テ果シテ政府ハドシナ御心構ヘデアアルヤ否ヤト云フコトヲ第一ニ承リタイ、其ノ次ニ第二ニ承リタイコトハ、我が國ノ火災統計ノ問題デアアル、火災統計ハ、毎年内務省カラ火災ノ統計ガ出テ居ルガ、先ヅ一箇年ニ六七千萬圓ト云フコトニナツテ居リマスガ、是ニハ山林火災ト原野火災ト云フモノガ入ッテ居ラナイ、假ニ六七千萬圓、五六千萬圓ト致シテモ動産ヤ債券ノヤ、ウナモノガ入ッテ居リマセヌ、火災統計……、マアソシナモノナンカヲ加ヘルト先ヅ火災ノ損害ト云フモノハ三倍グラキト云フ計算ニ致スト云フヤウナ日本デハ慣例ニナツテ居ルノデアリマスカラ、先ヅ一般トシテ樺太ナンドヲ除ケマシテ二億萬圓ノ火災損害ガ一箇年アルト、斯ウ言ハレテ居ルノデアリマス、其ノ中ニ今申スヤウニ山林、原野ガ入ッテ居ラス、斯ウ云フ點カラ言ッテモ、如何ニ山林火災ト云フモノガ國民ト液交渉デアルト云フコトガ分ル、茲ニ又官憲ノ連絡モ將來非常ニ必要デアアル、火災統計ノ上カラ言ッテモ農林省ト内務省トガ餘程連絡ヲ取ッテ、國民ノ方ノ側カラ言ヘバ眼中農林省モ内務省モナイノデアアル、全國ノ火災ノ損害ガドレダケアルカト言ヘバ、山林火災モ入レナケレバナラナイ、斯

ウ云フヤウニ將來ハモットノ内務省ト農林省モ能ク火災統計ノ上カラモ連絡ヲ御取リニナツテ、山林火災ノ統計ノヤウナモノデモ、火災原因ナンカラ出來ルダケモットノ具體的ニ將來御取調ニナツテ、是マデハ煙草ノ吸殻、火入レ、ソレカラ東北方面デハ汽車ノ煙ト云フヤウナモノガ最も多キヲ占メルカノ如ク承ツテ居ル、斯ウ云フヤウナ譯デアリマスカラ、斯ウ云フ場合ニ於テ國民ニ餘程能ク了解セシメルト同時ニ、官憲同土ノ連絡提携ト云フコトニ對シテ特ニ御注意ニナラナケレバナラヌコトデナカラウカト思フ、火災ノ上カラ云ウテ私有林デアラウト、村有林デアラウト、國有林デアラウト、保安林デアラウト、風致林デアラウトソソナコトハ構ハナイ、山火事ニナツタナラバソソナ内輪ノ區別ナド何ニモナラナイ、要ハ一般火災統計ノ上カラ見テ山林ト云フ立場ニ於テ餘程大キナ著眼點カラ山林關係ノコトニ付テ御考慮ニナルコトガ最も必要デハナイカト思フ、斯ウ云フ點ニ於テノ御心構ヘハドウ云フ風ニナツテ居ラウカ、是マデハ暫ク措イテ、將來ハドウ云フ御決心デアルカト云フコトモ根本問題トシテ承ツテ置キタイ、其ノ次ニ第三ニ承ルコトハ山林消防ニ付テノ農林省ノ方針デアルガ、昨日農林大

臣カラ御答ガアツタガ餘リ簡單ニ過ギル、斯ウ云フ重大問題ニ付テハ定メシ御當局ニ於テハ具體的ノ御方針ガアルニ相違ナイト思フ、山火事ハ私ノ是マデ見聞スル所ニ依レバ、多クノ場合ニ先ヅ水ヲ使ハナケレバナラヌニモ拘ラズ、水ノ利用ガ少イノヲ原則トシテ居ル、惡イ原則デアアルガ山ダカラ仕方ガナイ、水ガナケレバ火ハ消エナイノデアアル、ソコデ防火栓ト云フモノノ完成ヲ期シテ居ルノガ一般ノ通念デアアル、然ラバ山林火災ノ器具ハドウカト云ヘバ、昔カラノ慣習デ長イ鎌ヤ鋏ヤ鋸ト云フヤウナ、原始時代カラ大同小異デアアル、其ノ型ノ少シ大キナ物ハ使ツテ居ルガ大抵大同小異デアアル、實ニ進マザルコト甚シイト思フノデアリマスカ、外國デハ、能ク詳シイコトハ調べマセテ居ルカノ如ク承ツテ居リマス、殊ニ「アメリカ」ガ世界第一デアリマスノデ、御承知ノヤウニ山林火災ノ場合ニハ「ラデオ」ヲ應用シマス、電話ヲ應用シマス、殊ニ警察デモ、マダ歐洲ニハ飛行機ト云フモノハ餘リ用キテナイニ拘ラズ、夙ニ「アメリカ」デハ山林火災ノ爲ニ飛行機ヲ應用シテ居ルノデアリマス、又米國ノ山林局デハ是マデ山火事ノ消火法ニ付テハ度々議論ガアツテ、民間ノ者モ、其

ノ爲ニ餘リニ危害ガ多イノデ種々ノ方策ニ付テ其ノ筋ヘモ意見ヲ申述ベ、又山林當局モ之ニ付テハ随分研究ヲ重ネテ居ル程ニ重大ナル問題ニナツテ居ルノハ御承知ノ通りデアアル、殊ニ餘程考ヘナケレバナラヌコトハ、飛行機カラ化學的ノ消火劑ナドヲ飛バシテ、サウシテ是デ火ヲ消サナケレバナラヌト云フヤウナ問題ハ、米國ノ山林局ニ於テハ是マデ度々提案サレタ問題デアアル、サウシテ又飛行機ニ乗セテアル所ノ瓦斯ノ爆彈ト云フヤウナモノモデス、之ヲ一ト度投下スレバ随分效果ガアルト云フ説モ耳ニシテ居ルノデアリマス、又航空機ノ應用ニ付テモ火事ノ上ヲ航空機デ偵察隊ヲ出シテ、ドノ方ニ火ノ勢ガ盛デアアルカラ應援隊ヲ直グ出セ、丁度漁船ノ方デ魚ガドウ云フ場所ニ多イカラト言ヘバヒョット出ルト同ジヤウニ、航空機デ以テ火勢ヲ見テ應援隊ヲ出スト云フコトモ御承知ノヤウニ餘程行ハレテ居ルヤウデアリマスカ、其ノ偵察ヲスル飛行機ガ燒ケタラ大變デスカラ、是ハナカノムツカシイ役ダガ、是モ矢張り或程度迄ヤリ得ルデセウ、サウシテ又ソレガ偵察スルノミナラズ、其ノ飛行機カラ地上ヘ向ツテ或ル程度ノ消火劑ヲ投ズルコトモ今申上ゲルヤウニ出來マセウ、サウ云フヤ

ウナコトニ對シテモ餘程今カラ考ヘテ置カナケレバナラヌト思フ我ガ國モ……、デスクノ如ク斯ウ云フヤウナコトナドモ餘程應用ノ出來ナイコトデハナイト存ジマスカ、昨日モ申上ゲタ通りニ望樓ナドト云フモノハ、是ハ一般ノ場合モ同様デ、マダ遺物デアリマシテ是モマダ日本ノ事情トシテハ必要デアリマス、殊ニ山ニハ望樓ハ餘程必要デアリマスカ、獨リ日本バカリデナイガ、ドウモ望樓バリニ今日ノ時勢ニ於テ頼ツテ居ルコトガ出來ナイ、歐米デスラモ御承知ノヤウニ唯濡レタ袋ヤ「シヤベル」ナンドヲ持ッテ數哩ノ道ヲ逍遙シテヤツテ居ルト云フヤウナ狀況ナンデアツテ、ナカノ此ノ山林火災ナド面倒ナモノハナイノデアリマス、ソコデ御尋ネスル要旨ハ、飛行機ナドノ研究モ重ネラレテ居ラウト存ジマスカ、斯ウ云フヤウナ方面ニ對シテ是ハマア識者ガ言フコトデアリマスカ、時代ガ時代カラ野戰砲兵隊ナドノ野砲發射ト云フモノガ非常ナ大量ノ瓦斯ヲ發スルコトガ出來ルノデ、此ノ化學的知識ノ上カラ言フテモ其ノ瓦斯ト云フモノハ消火上非常ニ效力ガアルト云フノデ、此ノ方ノ道ノ人モ、將來此ノ山林バカリデハアリマセヌガ、大砲デ以テポイントヤツタナラバ一般ノ火事ニモ大イニ效果ガ

アラウト云フヤウナ説ガアル、是ハ想像シ  
易イ説デアリマスノデ、山林火災ノ如キハ  
最モサウ云フコトハ考ヘラレル問題ヂヤナ  
イカト思フ、サウ云フ風ニシテ砲兵隊ノヤ  
ウナモノト山火事ナシカト云フモノト結ビ  
付ケテ、サウシテ此ノ大々的ノ消火彈ヲ以  
テ大砲ノ彈丸ニスルト云フコトモ考ヘ得ル  
コトデアル、是ハ「アメリカ」ナンカニモ其  
ノ説ガアル、マダ實行迄ニハナッテ居ナイ  
ガ、……サウ云フヤウナコトナンカニ付テ  
モ十二分ニ御考慮ヲ願ヒタシ、茲ニ餘リニ  
昨日ノ農林大臣ノ御答ガ山林火災ニ付テ簡  
單デアリマシタカラ、モット詳シイコトニ付  
テ廣ク承リタイ、最後ニ保險金ノ問題デア  
リマスガ、保險料ハ成ルベク低廉ニ努メル  
ト云フ御趣意ノヤウデアリマスガ、又支拂  
ノ限定ハ、被保險ガ現實ニ被ツタ損害額ヲ  
超過スルコトヲ得ザル損害填補ノ原則ニ據  
ラレルヤウデアル、是ハ損害保險ト云フモ  
ノノ原則デアリマスカラサウアルベキコト  
ト信ジマス、昨日モ申上ゲタ、ケレドモ若  
シモ之ニ反シテ保險金額ガ高クナリマスル  
ト、放火ヤ不正ノ手段ナドガ起リ出シタラ  
射倅心ヲ誘發スルモノデ、賭博行爲ニマデ  
ナッテ、山林ニ從事スル質實剛健ナ職業者ニ  
對シテハ容易ナラスコトニナル、是ハ此ノ

點ニ於テ再造林ノ實費ヲ目標トサレタ所ノ  
立法ハ適當デアラウト思フンダガ、サリト  
テ又餘リニ低ウサレテモ困ル、高クサレル  
ノハイカナイガ、低ウサレテモ困ル、然ラ  
バ之ヲドウスルカト云フコトハ御苦心ノ存  
スル所デアラウト思フノデアッテ、是ハ勅令  
ノ定ムル所ニ依ッテ此ノ法案ニ依ルヤウデ  
アリマスガ、此ノ勅令ニ依ルト云フ色々簡  
易保險ノ如キ例モアリマセウ、或ハ統計上  
ナンカニ依ッテ色々ヤルトカ云フヨリ外ニ  
方法ハアルマイトハ思ヒマス、此ノ點ハ最  
モ大事ナ問題ナンデモアリマスノ段々御  
答辯モアツタコトトハ存ジマスガ、此ノコト  
ニ付キマシテモ、保險料計上ノ基礎ニ付キ  
マシテ何ダカ心配ナヤウナ感ガ何トナクス  
ルノデアリマス、安心ノ出來ルヤウニ此ノ  
上御説明ヲ願フコトガ出來タラ幸デアリマ  
ス、ドウカ此ノ點モ大切ナ問題ト存ジマス  
ノデ右四點ニ付テ御尋ネ致シマス

○政府委員(村上龍太郎君) 第一點ノ此ノ

火災保險ヲヤルニ付テドウ云フ決心ヲシテ  
居ルカト云フ御尋デゴザイマスガ、御承知  
ノヤウニナカク農山村ニ於ケル保險思想  
ト云フモノハ發達シテ居リマセヌノデ、非  
常ナ苦心ヲ致サナケレバナラヌト云フ決心  
ヲ致シテ居リマス、又政府ガヤリマスル以

上ハ、是ガ不成績ニ終リマス云フコトハ  
是ハ政府ノ關係バカリデナク、民間ノ保險  
ノ成績ニモ及ビマスカラ十分注意ヲ致シテ、  
最善ノ努力ヲ盡シタイト思ッテ居リマス、第  
二ノ火災統計ニ付キマシテハ御趣旨御尤モ  
ト考ヘマスノデ十分努力致シタイト思ヒマ  
ス、ソレカラ第三點ノ山林ノ火災ノ豫防、消  
防、之ニ付キマシテモ非常ニ大切ナコトデゴ  
ザイマスノデ、幾分我々ガヤッテ居ルコトハ  
昨日寫眞或ハ圖面等デ御目ニカケタ所デ御  
諒承願ヘルト思ヒマスガ、尙工夫ヲ致シタイ  
ト思ヒマス、農林省ト致シマシテハ豫算化  
ハ致シテ居リマセヌガ、或程度ノ計畫ハ考  
ヘテ居リマス、飛行機等ノ利用或ハ大砲等  
ヲ利用スルト云フ御話デアリマス、「アメリ  
カ」ノ政府ガ十數年前カラ飛行機ヲ用ヒ、又  
散彈任組ミノ防火裝置ナドヤルト云フコト  
モ我々承知シテ居リマス、私自身「アメリ  
カ」ヘ參ツタ時モ其ノコトヲ能ク伺ヒマシ  
タ、唯「アメリカ」ノ形ヲ其ノ儘日本ヘ持ッテ  
參ルノハ地形ガ違ヒマスカラ、日本ハ日本  
ノ地形ニ從ッテ日本ノ農山村ノ實例ニ依ル  
ヤル方ヲシナケレバナラヌ、又精神狀態ニ  
於キマシテモ違フ點モゴザイマセウカラ考  
ヘナケレバナリマセヌ、飛行機等ヲ使フノ

面デ利用スベキ點ハアルデハナカラウカ、  
私自身モ多少飛行機ニ乘ッテ山林視察ヲシタ  
經驗ヲ持ッテ居リマス、直チニ……併シ今  
農林省デ考ヘテ居リマス所デハ、警防ニ飛  
行機ヲ取入レルト云フコトハ現在デハ考ヘ  
テ居リマセヌ、併シ進シダ方法ニ依リタイ  
ト云フ進歩的ノ考ハ是ハ何處迄モ採入レテ  
行キタイト思ッテ居リマス、ソレカラ保險金  
額ノ定メ方デアリマスガ、是ハモウ仰セノ  
通りデアリマス、高クスルト弊害ガアリマ  
スルシ、低過ギルト再造林スルコトガ困難デ  
アリマス、誠ニ大切ナ點デアルガ、同時ニ  
ムツカシイ點デアリマシテ、再造林ノ費用  
等モ睨ミ合セテ、各地ノ造林ノ實情等モ睨  
ミ合セマシテ、適當ダト思フ數字ヲ參考書  
ニ書イテ御示シテ致シタヤウナ次第デアリ  
マス、ソレハ最モ苦心ヲ致シマシタ數字デ  
アリマス、唯地方ニ依リマシテハアノ數字  
ダケデハイケナイ地方モゴザイマス、各地  
ニ依ッテ事情ガ違フノデアリマス、ソレ等ニ  
付テハ多少斟酌ヲ加ヘテ、御指示ノ點ハ  
我々モ心配致シテ、ムツカシイ問題デアレ  
バソレヲ調和的ニ考ヘテ實行致シタイト斯  
様ニ考ヘテ居リマス

○委員長(伯耆堀田正恒君) 北海道長官ガ

見エテ居リマスガ……

○白根竹介君 北海道ノ當局ガ見エテ居リ

マスルカラ、一寸御伺ヒ致シマス、森林火災國營保險法案ト云フモノヲ私ノ手許デ審査致シテ居リマスルガ、此ノ法律ニハ只今明示シテアリマセスケレドモ、段々説明ヲ伺ヒマスルト、日本全國ノ中、北海道ダケハ施行區域ニ入レナイト云フ御趣旨ノヤウデアリマスガ、關係地方トシテドウ云フ風ナ御考ヲ持ッテ居リマスカ、チヨットソレヲ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(池田清君) 昨日デスカ、山林

局長カラ御話ガアツタサウデアリマスガ、北海道ニ於テハ以前ノ火災統計ガ正確ナモノヲ取ルノガ困難デアリマスルノデス、但シ大正八年頃以來ノモノハ正確ノモノガアルト思ヒマス、尙此ノ際御參考迄ニ御話シテ置キタイトハ、北海道ノ此ノ山林ハ六百八十六萬六千餘町歩アルノデアリマスガ、此ノ内ニ御料林ガ九十餘萬町歩、國有林ガ三百五十一萬餘町歩、民有林ガ百六十萬餘町歩其ノ他デアリマスルガ、民有林ハ斯クノ如ク大キイ面積ガアルノデアリマス、而シテ此ノ中ニ施業ノ出來ル面積ガ百二十八萬町歩アリマシテ、此ノ中針葉樹ガ二千七百四十九萬餘石、潤葉樹ガ一億二千五百十五萬餘石、斯様ニ澤山アリマス、此ノ民有林

ニ付テ去ル昭和九年ノ伐採シタ量ヲ舉ゲテ見マスレバ、針葉樹ガ百九十三萬餘石、潤葉樹ガ二百五十五萬餘石、薪炭材ガ八百八十八萬餘石總計一千三百三十七萬餘石アル譯デアリマシテ、サウシテ此ノ民有林ノ中ニ付テ、此ノ人工ノ植栽、人工デ木ヲ植エテアル面積ガ、此ノ二十年未滿ノ小サイ木

デスネ、之ガ八萬八千餘町歩アルノデアリマスルノデス、サウシテ此ノ中ニ落葉松ガ約八割植ハッテ居リマス、落葉松ハ北海道デハ餘程早カラ植エテアリマス、二十餘年以上ノモノモ大部アリマスルノデスガ、其ノ外ニ杉ガ七千町歩、此ノ八萬八千餘町歩ノ中ニ七千町歩、榎松ガ約八千町歩クラキ植エテアル、ソレカラアトガ落葉松ニナッテ居リマス、ソレデ毎年民有ノ土地ニ三千町歩カラ四千町歩位ヅツ毎年今植エテ居リマス、斯ウ云フ工合ニ北海道ニ於テハ官有林ニ付テ之ガ保護ヲ加ヘ又増植モ致シテ居リマスルガ、民有林ニ付テハ更ニ之ガ獎勵ヲ加ヘテ居リマシテ、今後此ノ民有林ハ相當ノ繁殖、植樹ガ多クナラウカト考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス

○白根竹介君 サウスルト森林火災保險ト

云フヤウナモノハ、制度ガ出來レバ成ルベク均霑ラシテ全國並ミニ入りタイト云フ御

希望ハ御アリニナルノデアリマスカ

○政府委員(池田清君) 今ノ統計ガ正確ニ

出來マスレバ、是非北海道ニ付テモ、此ノ保險法案ヲ施行シテ貫ヒタイト考ヘテ居ル次第デアリマス、是ハ官民共ニ熱望致シテ居ルヤウナ次第デアリマス

○白根竹介君 近頃北海道ハ大變林業思想

ガ發達シテ、只今長官ノ御述べニナリマシタヤウニ、非常ニ林業ニ目覺メテ來タ、其ノ反面ニ於テ火災豫防ノ施設等ガ非常ニ完備シテ、林業ニ對スル危險モ非常ニ除カレテ來タト云フヤウナ現況デアリマスカラシテ、最近ノ狀況ヲ見比ベテ、又過去ノ統計ガ正確ナイト云ツタ所ガ、兎ニ角道廳始ッテ以來長官ガ居ラレルノデス、ソレノ機

邊ノコトハ農林當局ノ御意見ヲ併セテ伺ッテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(村上龍太郎君) 北海道ニ施行

致シマスコトハ不可能トハ考ヘテ居リマセヌノデ、ソレハ保險ヲ實施致シマスニ致シマシテ、基礎材料ヲ能ク整ヘマシテ、是ハ農林省ダケノ考デアリマスカラ關係當局トモ能ク相談ヲ致シマシテ、出來ルダケ早ク北海道ニ施行スルヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス

○松村眞一郎君 長官ハ、サウ致シマス

ト云フコト云フコトデアラナラバ相當ノモノガアルドラウト思ヒマス、サウ云フヤウナ正確ラ期サナケレバ出來ナイ程營利的ノモノデモ何デモナイト思ヒマス、綜合スレバ國家ガ引受ケレバ宜イノデスカラ、私ハ内地ニ於テ斯ウ云フ施設ガアルノヲ、北海道ガ眺メテ居ッテ、直グニ追従スルクラキノ熱意ガナケレバ、北海道長官トシテ國有林ナリ私

○政府委員(池田清君) 調べテ居リマスガ、

正確ナ統計ヲ舉ゲルニハ困難デアリマシテ、之ヲ出來ルダケ速カニ、正確ニ調査スルヤウニスルコトヲ期シテ居ル次第デアリマス、是ハサウ長ク掛カラナイデ出來ルカト思フノデアリマス、而シテ北海道ニ於キマシテハ、先程申上ゲマシタ通り、是ハ時期ハ別トシマシテ、當然出來得ルト斯様ナ確信ヲ持ツテ居ル次第デアリマシテ、決シテ不熱心ト考ヘテ居ナイ次第デアリマス

○松村眞一郎君 私ハ時期ヲ承リタイノデ

ス、今日大正八年以來ノ統計ガ分ッテ居ルト云フ程ノ年限ノモノガアレバ、私ハ直グニ施行シテ一向差支ナイダラウト思フ、ソレハヤッテ見テ、イケナケレバ保険料ノ率ヲ變ヘテ一向差支ナイ、ソレ程營利的ニヤルコトヲ政府ハ要望シテ居ナイノデアツテ、此ノ特別會計ヲ御覽ニナレバ分リマスガ、十年間ハ一般會計カラ補給スルコトニナッテ居ル、足りナケレバ豫備金ヲ支出サレテ一向差支ナイモノデハナイカト思ヒマス、町歩ハ極メテ僅カノモノデアリマス、ソレハアナタノ御心配ニナル程ノ町歩デハナイ、ソレハ統計ヲ示シテ申上ゲレバ直グニ明瞭ニナルダラウト思ヒマス、サウ云フモノヲ唯調査ガ出來テカラヤルト云フヤウナ緩漫

ナコトデ、一體民人ノ保護ガ出來ルカドウ

カト云フコトヲ私ハ疑ハザラ得ナイ、ソレカラ昨日松井博士モ北海道ノ消防ノ状態ガ近年極メテ良好ニ行ッテ居ルト云フコトヲ言ウテ居ラレル、ソレハ統計ニ於テサウ云フコトヲ明確ニ示シテ居リマス、昭和七年カラ八年、九年、十年ト云フモノノ計數ヲ見マス、北海道ニ於テハ新植ノ總面積ガ國有林タルト私有林タルト何タルト問ハズ、新植面積ト云フモノノ、先程北海道長官ガ言ハレタ三千町歩クラキノモノヲ、民

有林トシテ新植サシテ居ルト云フ、其ノ

關係ニ於テノ調べ、デスガ、其ノ新植林ノ總面積ガ北海道ハ全國府縣ト比較シテ、昭和七年カラ八年、九年、十年ニ至ルマデノ間、總面積ニ於テハ全國第一位ヲ占メテ居ル、サウシテ私有林ハ昭和七年、八年、九年マデハ矢張り第一位ヲ占メテ居ル、サウシテ十年ニ於テ偶、第二位ニナッテ居ル、静岡縣ガ第一位デアル、ソレ程澤山ナ新植林ヲヤル程ノ、林業ニ於テハ先ヅ第一ニ考ヘナケレバナラヌ土地デアルト思フ、サウシテ面積ハ多イ時ハ一割位ノモノヲ示シテ居ル、全國ニ對シテ……、斯クノ如キ施設ガ農林省ニ於テヤラレテ居ルコトナラバ、ソレニ先鞭ヲ付ケテ北海道長官トシテハ考ヘルベ

キ筈デヤナイカト思フ、消防ニ付テハ非常

ナ勢ヒヲ以テ、ソレハ長官ノ御盡力ノ結果デアラウト思ヒマスガ、全國的ニ模範的ノ現象ヲ示シテ居ル、消防ノ關係ハ……、ソレガ又統計デ分ル、ソレハドウ云フコトニナリマスカト云フト、立木ノアル所ノ總面積ノ火災ノ面積ト、ソレカラソレニ對シテ私有林ガドノ位ナ關係ニナッテ居ルカト云フコトヲ調べテ見マス、昭和七年

ニ於キマシテ、全國全體ノ被害町歩ガ七千

四百七十七町一段ト云フモノガアリマスガ、是ハ此ノ數字ダケ申上ゲテ、餘リ煩雜ニ互リマスカラ……、即チ七千町歩クラキノモノガ昭和七年ニアツタト云フコトヲ茲ニ申上ゲテ置キタイ、其ノ中北海道ハ千八百七十四町七ト云フモノヲ、矢張り立木地ノ被害ヲ火災ニ於テ示シテ居ル、是ハ矢張り第一位ナンデアル、火災ニ於テ第一位ナンデアル、ソレハ昭和七年トソレカラ八年ト九年トデス、ソレマデハ第一位ヲ占メテ居ル、十年ニ至ッテ、是ハ私ハ長官ガ非常ニ努力シテ居ラレルノダト思ヒマスガ、是ハ十年ニ至ッテ第十位ニナッテ居ル、是ハ非常ニ消防ニ力ヲ入レラレタモノデアルト思フ、サウシテ是ハ民有ノ關係デ見マス、此ノ民有

ハ昭和七年ニ於テ北海道ハ第一位デアル、

ソレハ北海道ノ面積ハ九百一町歩、僅カノモノデス町歩トシテハ……、ソレナモノヲ躊躇シテ居ッテ保險ノ適用ヲ危ブム程ノ問題デヤナイ、僅カ九百一町歩シカナイ、ソレデモ全國第一位デアリマス、全國ニ於テハ三千六百九十六町歩ト云フコトニナッテ居リマス、全國ノ私有林ノ中デ立木地ノ被害ノ面積ガ三千六百九十六町歩三段アル内デ、北海道ハ九百一町歩二ト云フモノデアツテ全國第一位、ソレカラ昭和八年ニ於テ矢張り

總面積ノ上ニ於ケル火災モ第一位、先程申

シタ如ク……、トコロガ民間ノ方ハ、私有林ニ於テハ全國ニ於テ第六位ニナッテ居ル、總面積ハ第一位デアリマス、併シ私有林ハ第六位ニナッテ居ル、昭和九年ニ至ッテ總面積ハ今度第一位、民間ハ其ノ先キハ第一位ニナッテ居ル、トコロガ昭和十年ニ至ッテ總面積ニ於テ先程申シタ如ク第十位、民有ニ於テ第二十位ニナッテ居ル、其ノ面積ハ僅カニ九十町歩デアル、ソレナ九十町歩クラキノ問題ハ大正八年カラノ計數ガアレバ直チニ私ハ保險ヲ施行シテ宜カラウト思フ、九十町歩ハドノ位ノ金額デアリマスガ、ソレハ長官ガ算盤ヲ彈カレタナラバ、ソレナモノハ財政上ノ負擔ニナルコトデモ何デモ

ナイ、ソレデ既ニ第二十位ニナツテ居ル、第一位デアツタモノガ消防ヲ獎勵シタ結果第二十位マデノ、非常ナ成績ヲ擧ゲテ居ルトスレバ、私ハ是ハ直グニ施行シテ宜カラウト思フ、サウシテ消防ノ能率ノ上ツタ所ノ地域ニ對シテ保險料率ヲ下ゲテ行ク、サウスルト消防ト云フモノト保險ト云フモノハ、ソコニ因果關係ヲ有ツテ人民ハ非常ニ満足スル、或土地ニ於テ消防ノ成績ガ擧ガツタ場合ニハ保險料ヲ下ゲルト云フコトニナルト、ソコニ消防ト云フモノガ非常ニ徹底シテ行ハレルト思ヒマス、ソレハ北海道ニ於テ初メテ實行出來ルト云フ、今申上ゲマシタ如ク第一位ガ一躍第二十位ニナルト云フスクノ如キ好成绩ヲ擧ゲラレテ居ル北海道ニ於テ、何ガ故ニ全國ニ對シテ模範ヲ垂レラレナイカト云フコトヲ疑ハザルヲ得ナイ、今日直チニ施行シテ差支ナイト私ハ思ヒマス、ソレデ此ノ法律ヲ見マスト附則ニ斯ウ云フコトガ書イテアル、「本法ハ勅令ヲ以テ指定スル地域ニ之ヲ施行セズ」ト書イテアル、北海道ノ方デ布イテ貫ハナクテ宜イト言ハナケレバ直ニ施行出來ル、勅令ヲ以テ指定スル地域ニ之ヲ施行セズデアリマスカラ、北海道方何ヲ求メテ私ノ方ニハ施行シテ貫ハナクテ宜イト

云フコトヲ言フ必要ガドコニアルカ、ソレダケノ勇氣ヲ御持チニハナラナイノデアリマスカ、タツタ九十町歩ノモノデアリマス、多イ時デモ九百町歩ノ第一位ノ時デアリマス、其ノ後ヲ見マスト昭和七年ニ於テ今申シタ如ク私有林デ九百一町歩二段デス、ツレカラ昭和八年ニ百一町歩一、僅カニ百一町歩ノ問題デアリマス、昭和九年ニ於テハ、是ハ少シ多イ、此ノ時ニハ千八十四町歩ニナツテ居リマス、是ガ昭和九年デス、昭和十年ニ於テ一躍九十町歩ニナツテ居ル、斯ウ云フ状態デアアル、サウ云フヤウナ状態ニ於テ、消防ニ付テハ非常ニ盡力ヲナサツテ、茲ニ明瞭ニ計數ヲ示シテ居ル場合ニ、北海道廳ノ方カラ進ンデ、私ノ方ニハ適用シテ貫ハナイト云フコトヲ言フコトガ人民ニ對シテ親切ナヤリ方デアアルカドウカ、是ハ私ハ勇氣ヲ以テ引受ケテ宜イト思ヒマスカラ、北海道長官トシテハ勅令ヲ以テ指定スル地域ニ御入レニナル御心配ニハ及ビマセスト斷言シ得ルト思ヒマスガ、其御決心ヲ承リタイ

○政府委員(池田清君) 農林當局デ只今折角の攻究努力シツ、アリマスカラ、北海道廳トシマシテハ、農林當局ニ信頼シマシテ是ガ速ク實現サレルヤウニ熱望致シテ居ルウヤナ次第デアリマス

○松村眞一郎君 是ハ甚ダ北海道長官トシテ自己ノ職責ヲ御忘レニナツテ居ルデハナイカト思フ、北海道ノ森林ハ農林省ノ所管デヤアリマセスヨ、農林省ニ何ヲ信頼サレルノデスカ、モウ一度御答辯願ヒタイ

○政府委員(池田清君) 保險ノ方ハ農林省デヤツテ居リマスカラ、此ノ點ハ農林省ニ信頼シタイト思ヒマス

○松村眞一郎君 サウ致シマスト、本案施行ノ場合ニハ農林省所管デヤラレル積リデスカ、ソレヲ承リタイ、農林省所管デ森林保險ヲ施行スル積リデアリマスカ、ソレハ容易ニアナタハ答辯出來ナイ、ソレハ私此處ニ即座ニ答辯サレタラ後デ困ルト思フ、ソレハ何故カト申シマスト、林野ニ付テハ北海道ハ總テ除斥シテアル、主務官廳ハアナタデス、ソレヲ農林省ヲ信頼スルト云フコトハ、大變ナ間違デアルト云フコトヲ御考ヘニナラナケレバイケナイ、ソレハ國有林野法ノ附則ニ本法ハ北海道ニ施行セズト云フコトガ先ヅ書イテアル、アナタノ方デヤツテ居ラレル森林法、森林法ト云フモノハ、御承知ノ如ク全體ノ行政權ヲ持ツテ居ル譯デス、ソレノ附則ノ第六條ニハ「北海道沖繩縣其ノ他勅令ヲ以テ指定スル島嶼ニ付テハ本法中保安林ニ關スル規定ニ限り之ヲ

施行ス」トヨリシカナイ、其ノ外ハ總テ北海道長官ガヤツテ居ル、火災保險ヲ若シ行フトスルナラバ、今日ニ於ケル行政形態ト致シマシテ、北海道長官ガヤラナケレバイケナイ、内務省側デヤラナケレバイカス、斯ウ云フ問題モアリマスカラ、農林省ニ信頼スルト云フコトハ餘程ヲカシイ、何ヲ信頼スルノデスカ、信頼セムトスルコトガ分ラナイ、ソレヲ御答辯願ヒタイ、私ハ追窮スルコトヲ目的トシテ居ルノデヤナイノデアリマシテ、サウ云フヤウナ次第デアリマスカラ、能ク長官ニ於テモ御考ヲ願ツテ、此ノ際御決心ヲ戴イテ、施行スルト云フコトニ決心サレタラ宜カラウト私ハ思フ、今申シマシタ如ク九千町歩ノ問題デアリマス、サウシテ北海道長官自身ガ自己ノ警察ノ問題デ、保安林ト保安警察ト云フモノノ方デ、アナタノ方デ非常ニ警察ヲサレタ、アナタハ、此處ニ居ラレマセヌガ昨日松井君カラ非常ニ其ノコトニ付テ、北海道ノ治績ガ擧ツテ居ルコトヲ、アナタニ頌德表ヲ奉ツテ居ル、或意味ニ於テサウ云フコトヲ一面ニヤツテ居ルナラバ、之ニ關聯シテ保險ノ經營ヲ、北海道長官ガ力ヲ入レテヤルコトハ當然デヤナイカト思ヒマスカラ、私ハ今日即座ニ御答辯ハ要リマセヌ、此ノ委員會ノ

繼續中ニ於テ御熟考ニナツテ、引受ケマス  
仰シヤレバ法律ハ此ノ儘出シテモ宜イデセ  
ウ、場合ニ依ツテハ法律ハ、私此ノ附則ハ  
削ツテシマフガ宜イト思ヒマスガ、「本法ハ  
勅令ヲ以テ指定スル地區ニ之ヲ施行セズ」  
ト云フガ如キ規定ハ削ツテシマツテモ宜イ、  
併シナガラ是ハ修正意見ニナリマスカラ、  
是ハ色々ノ兩院ノ關係ガアツタリ色々致シ  
マスカラ、法律ノ性質上サウ云フ事柄ノ爲  
ニ、法律ノ生命ヲ奪フコトハ私ハ喜バナイ、  
併シナガラ勅令ヲ出シテ戴カナケレバ宜シ  
イ、アナタノ方ニ合議ガ行ク、北海道ニ施  
行セズト云フ勅令ヲ内務大臣ガ同意スル  
云フコトニナリマスノハ、自ラ退却スル  
トニ同意スルコトニナル、ソレヲアナタノ  
方ニ合議シテ來ル譯デス、今日ハ長官ノ御  
答辯ヲ伺ツテ、長官ガ非常ニ熱心デア  
ラズ、此ノ案ヲ豫メ相談ヲ受ケテ居ナイ  
ト云フコトヲ自分ヂヤ推察スル、此ノ際ニ突  
如トシテアナタノ御出席ヲ求メテ、私ハ斯  
クノ如ク非常ニ激シイヤウナコトヲ言フ  
アナタヲ追窮スルト云フコトガ目的ヂヤナ  
イノデアリマス、ソレニ依ツテ事ノ真相ヲ私  
ハ諒解スル、結局此ノ案ト云フモノハ、  
アナタ方ニ十分相談シテナイト云フコトヲ  
私ハ茲ニ發見シタ、ソレデアリマスカラ能

ク御協議願フ……内務大臣トシテノ問題  
ダ、是ハ國有林野ト云フモノハ第一次ニ於  
テ總テ長官ガ御引受ニナツテ擔任シテ居  
レル、トコロガ一般的ノ主務官廳ノ職務  
ハ、北海道ニ關スル限リ内務省ノ地方局ガ  
ヤツテ居ル、内務省ノ官制第一條ニハサウ云  
フコトハ書イテナイ……林野ト云フモノハ  
ナイ、拓殖ト云フコトハ書イテアルガ林野  
ト云フコトハ書イテナイ、地方局ニ於テ、  
北海道拓殖及林野ト云フコトガ書イテア  
ル、其ノ關係カラ地方局長ガ北海道ニ關ス  
ル林野……主務大臣ハ内務大臣ガナツテ居  
リマスケレドモ、恐ラクハ内務省ハ總テ長  
官ニ御任セシテアルト思フ林野ト云フモノ  
ハ……、何トナレバ地方局ニハ林野ノ職員ハ  
置イテ居ナイト思フ、全部ヲ擧ゲテ、内務  
大臣ノ主務大臣トシテノ職責全部ヲ擧ゲテ  
長官ニ茲ニ御任セシテアルトスレバ、北海  
道ノ此ノ第一位ヲ占メテ居ル林野デスカ  
ラ、ソレニ付テ重大ナル御決心ヲ以テ御進  
ミニナルコトガ必要ダト思フ、北海道トシ  
テハ林野ノ問題ハ私ハ拓殖費トノ關係ガア  
ルト思ヒマス、國有林ハソレデスカラ私ハ  
茲ニ端的ニ議論スレバ、本當ノ議論カラ中  
シマスト云フト、國有林ノ經營ハ農林省ガ  
ヤツテ宜イト思フ、營林局ト云フモノヲ北海

道ニ置イテ……、トコロガ其ノ點ニ付テハ餘  
程考ヘナケレバナラヌノハ、北海道拓殖費  
ノ財源ト云フモノト、北海道ノ林野ト云フ  
モノハ關係ガアル、是ハ長官能ク御承知ノ  
通りデ私ガ申ス迄モナイ、其ノ財源トシテ  
拓殖費ニ向ケルト云フコトニ付テ閣議決定  
ガ取ツテアル、ソレホド重要ナ財源デア  
ルガ故ニ、是ハドウシテモ北海道長官トシテ國  
有林野ハ經營ヲシナケレバナラヌト云フ地  
位上ノ立場ニアルト思フ、トコロガ一般林  
野ノ行政ニ付テハ、此ノ國有林以外ノモノ  
ニ付テハ、ソレ程アナタノ方デカヲ入  
レルトコロノコトデモナイト思フ、併シ  
ナガラ此ノ警察ノコトニナルト大變デ、林  
野ガ火災ニナツタ場合ニハ國有林、民有  
林ノ問題デナイ、アナタガ非常ニ責任ヲ  
持ツテ御預リニナツテ居ルトコロノ國有林ニ  
影響ヲ及ス關係ニ於テ、警察ニ付テハ能ク  
カヲ入レナケレバナラヌコトハ當然デア  
リマスガ、ソレヲヤツテ居ル以上ハ此ノ民有  
私有林野ニ關スル保險モ併セテヤル方ガ私  
ハ便利ダト思ヒマス、サウスルト云フト此  
ノ法律ハ農林大臣ダケノ法律ヂヤナクツテ、  
内務大臣ト連署デ出サナケレバナラヌ法律  
ニナツテ來ル、此ノ法律ソレ自身モ、特別  
會計モ亦内務省ト農林省ト相談ノ上デ運用

スベキモノニナルノデス、私共ハ官廳ノ區  
區ノ權限ノ繩張ノ爲ニ、其ノ繩張ニ國民ガ  
引掛ルト云フコトハ甚ダ迷惑スル、官廳モ  
互ニ能ク相談ヲシテ、國民ハ安ンジテ、内  
務省ノ所管デアルトカ農林省ノ所管デア  
ルトカト云フコトヲ研究シテ居ルモノハナイ、  
何ガ故ニ内地ニ於テ森林保險ト云フモノガ  
行ハレテ居ルノデア  
ルカ、サウシテ第一位  
ヲ占メテ居ルトコロノ北海道ガ何故行ハ  
ナイカト云フコトヲ、日本ノ國民ハ非常ニ  
不思議ナ考ヲ以テ眺メルト思ヒマスカラ、  
私ハ今日直チニアナタノ御答辯ヲ要求シ  
ナイ、事頗ル私ハ強ク申シ過ギテ居リマス、  
自ラサウ云フコトハ知ツテ居リマスガ、ソ  
レハ北海道長官トシテハ此ノ森林保險ニ關  
スル限リ、第一位ヲ占メテ居ル此ノ森林ニ付  
テノ責任上、簡單ニ是ハ眺メルトコトハ出來  
ナイト思フ、其ノ意味ニ於テ十分一ツ内務省  
トモ御相談ノ上ニ、此ノ委員會ノ繼續中  
於テ何等カノ御決心ヲ御答辯願ヒタイ、ソ  
レニ依ツテ我々ハ態度ヲ決メナケレバナ  
ラヌ、法律ソレ自身ガ極メテ曖昧ナコトガ書  
イテアル、私ハ立法論トシテモ感服シナイ、  
勅令ヲ以テ指定スル地區ト云フコトニナル  
ト、北海道ニ限ラズ何處デモ書ケルコトニ  
ナル、法律ソレ自身ガ非常ニ不都合ナ法律

ダト思フ、本案デハソレハ北海道ヲ考ヘテ居ル、何故此ノ點ニ付テ北海道ト云フコトヲ露骨ニ書カナイカ、露骨ト云フコトハ……端的ニ簡明ニ書カナイカ、ソレガ私ハ宜クナイト思フ、唯默ッテ居ルカラ知ラナイ、何處ヲ指定シテ居ルカ、今日民有林ノ所有者ハ本法ノ適用ヲ要望シテ居ルドラウト思フ、之モ委員會ニ於テ山本君ガ非常ニ熱心ニ質問サレテ居ル、焉ゾ知ラン其ノ質問サレテ居ルコロノ條項ハ北海道ニ適用ガナイト云フコトデアレバ、是ハ何年後ニ適用サレルカ質問シテ居ル、ソレハ議員デアリマスカラ、北海道ノコトバカリ考ヘテ居ル譯デアリマセス、併シナガラ北海道ト云フモノヲ考ヘナケレバナラスデアラウト思フ、サウ云フヤウナ次第デアリマスカラ十分ニ御熟考願ヒタイ、其ノ上デ御答辯ヲ煩シタイト思フ

○松井茂君 折角北海道長官御出席デアリマスカラ一言致シテ置キタイト思ヒマス、昨日松村委員ヨリ熱心ニ北海道ヲ除外スベカラズノ御意見ガアリマシテ、私ハ昨日モ申上ゲマシタガ、全國中デ北海道ノ消防ト云フモノハ非常ニ名聲ヲ博シテ能ク實效ヲ擧ゲテ居ルノデアリマス、例ヘバ火災豫防組合ガ全道廳令ニ依ッテ夙ニサウ

云フ施設モ行ツタルガ如キ、又日本デ率先シテ函館ニハ始メテ火災防火地區ト云フモノヲ作ツタノデアリマス、其ノ結果毎年大火ガアルノガ減リマシテ、大火毎ニ善後策ヲ講ジテ著々防火上ノ設備ノ見ルベキモノガアツタノデアリマス、更ニ又先年大火ヲヤリマスト、是亦辟易シナイデ非常ニ努力シタ結果、今日ノ又函館ハ全道ニ於テ始メテ防火水道ガ出來タノデアリマス、日本デハ専門ノ防火水道ト云フモノハナイノデアリマス、三百「ポンド」ノ水壓ヲ以テヤルト云フコトニ御承知ノ通り決定サレタノデアリマス、而シテ獨リ函館バカリデハナク、札幌ナドノ消防モ近年ハ非常ニ見ルベキモノガアル、其ノ他御承知ノヤウニ到レバ非常ニ注意ヲ拂ッテ居ル、就中北海道ノ山林ト云フモノハ全國ニ於テ名高イ、北海道ノ山林火災ト云フモノハ又全國ニ於テ樺太ト並ビ立ッテナカナカ大脅威ヲ及シテ是マデ居ルノデアリマス、然ルニ近年ハ御盡力ニ依リマシテ山林火災ノ度數モ積年ヨリハ餘程減ッテ參リマシタ、是ハ一ツハオ隣リノ樺太ガ非常ニ奮闘ラシテ居ルコトト相俟ツタ點モアラウト存ジマス、昨年……一昨年デアリマシタカ、畏クモ大日本消防協會ノ總裁デアラセラレル、同時ニ山林會ノ總裁デアラセラレ

ル梨本宮殿下ハ樺太ヘ御出デニナリマシテ、非常ニ昨日モ申上ゲタノデスガ、閑院宮殿下モ是ヨリ先ニ非常ニ樺太ノ山林火災防止ニ付テ御獎勵ガアツタ、梨本宮殿下ハ山林ノ方ノ總裁ノ宮様デ居ラッシャツテ又防火ノ宮様デアラレル、非常ニ御感激デ、近來山林ノ方面カラ言ッテモ、又火災ノ方面カラ言ッテモ、非常ニ好成績デアルト御喜ニナツテ御歸京ニナツタノデアリマス、ソコデ昨日モ申上ゲタノデアリマス、右様ナ實情デアリマスカラ、北海道ヲ除外スルト云フコトハ、全國ノ防火ノ社會ニ於テノ氣合ニ非常ニ關係スル、斯クマデ北海道ハ防火上ニ付テハ勉強シテ居ルノデアル、然ルニ自分ノ方ハ除外セラレルト云フコトハ、國民思想ノ上ニ於テモ影響スル、況ヤ防火ノ社會ニ勉強シタモノコソ恩典ニ浴シ、除外サレナイデ大手ヲ振ッテ此ノ火災保險ノ方ニ入ラナケレバナラスノニ、除外サレルト云フコトハ、消防氣勢ノ上ニ於テモ重大ナル關係ガアル、私ラシテ言ハシメレバ、此ノ法案ハソレヲ必要條件トシテ、原案ハ其ノ點ハ改正ヲシテ、除外例ヲ解ク位此ノ委員會ハ主張シテ可ナルモノデアルト思フノデアリマス、併シソレモ穩健デアリマセヌノデ、願ハクバ今白根委員カラモ御話ノア

リマシタ通りニ、大體ノ御調ヲ早速御ヤリニナツテ、又御ヤリニナラスデモ、早速能ク御相談ニナツテ、速カニ之ヲ御實行ニナルコトヲ切ニ希望シテ已マヌノデアリマス、今松村委員カラモ御話ノアリマシタ通り、色外ノ官憲トノ御都合モアリマセウガ、斯ウ云フ分リ切ツタ問題ニ對シテハ、殊ニ庶政一新ノ時代ニ於テ、官憲ガ色々、農林省ハ農林省、内務省ハ内務省ト云フヤウナコトハ誠ニ國民思想ニ於テモ穩健ナイト存ジマス、速カニ御實行ノ程ヲ重ネテ希望致ス次第デアリマス

○白根竹介君 チョット山林局長ニ申上ゲタイト思ヒマスガ、今ノ北海道除外ノ問題デスガ、過去ノ統計ト云フコトニ非常ニ重キヲ置イテ居マスノハ、是ハ御尤ナ話デスケレドモ、内地ノ山林火災ノ被害價格……面積ハ凡ソ達觀デ、何レモ是ハ達觀デ行クデセウガ、價格ナンカニシマシテモ、實ハサウ非常ニ的確ナモノヂヤナイト思フノデアリマス、北海道廳ニ於テ過去數年來、最近ノ統計ガアルトスレバソレヲ土臺ニシテ、凡ソ將來ヲ見越シテ、一應ノ保險料金ヲ出ス位ノコトハサウムツカシイコトヂヤナイ、デ一遍保險料金ヲ決メテシマヘバ、將來永久ニ變更スルコトガ出來ナイト云フヤウナ



大事ナモノデアレバ、ソレハ別問題デアリ  
マスケレドモ、何モ、又時期ニ依ッテ變更シ  
テ差支ナイ問題ヂヤナイカト思フノデアリ  
マスカラシテ、私共ノ考ト致シマシテハ、  
ドウカ一ツ北海道ダケヲ此ノ問題カラ除外  
シテ繼子扱シナイヤウニ、斯クノ如キ立派  
ナ、林業者ニ取ッテ非常ナ惠福ヲ與ヘル問題  
デアリマスカラシテ、全國普ク施行サレル  
ヤウニ、一日モ早ク其ノ實現ヲ希望スルノ  
デアリマス、決シテ問責スルヤウナ意味ハ  
チットモナイノデアリマスカラ、其ノ御積リ  
デ御願シマス

○委員長(伯爵堀田正恒君) 質問ハゴザイ  
マセスカ……ソレデハ此ノ際休憩ヲシテ懇  
談會ヲ開キタイト思ヒマス、ソレデハ是デ  
チヨット休憩シマス

午後二時三十八分休憩

午後四時十八分開會

○委員長(伯爵堀田正恒君) ソレデハ先程  
ニ引續キマシテ開會致シマス、質問ハモウ  
終了シタモノト認メテ宜シウゴザイマスカ  
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○委員長(伯爵堀田正恒君) ソレデハ終了  
シタモノト認メマス、討論ニ入リマス

○侯爵小村捷治君 私ハ四法案ニ賛成ヲ表  
スル者デゴザイマス、併シ此ノ際個人トシ

テノ希望ヲ一言簡單ニ申添ヘテ置キタイト  
存ジマス、勿論漁業保險、或ハ森林火災國  
營保險等ガ從來ノ民間業者ニ頗ル大ナル悪  
影響ヲ與ヘルモノトハ考ヘマセスガ、總テ  
斯カル社會政策立法ノ制定ニ當ラレマス際  
ニ、立案サレル際ニ、從來十分民間ノ業者  
ノ立場モ御諒察ノ上デアラウトハ存ジマス  
ガ、更ニ將來ニ於テ之ヲ慎重ニ御實行ナサ  
ルコトヲ希望致シマス、其ノ故ハ、餘リニ社  
會政策的立法ヲ強行スル結果ハ、ソレノ  
多年ニ亙ッテ營業シテ、研究努力シテ營業シ  
テ參ツタ當業者ノ企業心ヲ萎縮サセル虞ガ  
アルカラデゴザイマス、此ノ點ハ、此ノ四  
法案ノ御運用ノ際ニモ十分ニ御配慮願ヒタ  
イノデゴザイマス、私ハ唯個人トシテ以上  
ノ希望ヲ述ベテ賛成致シマス

○男爵井上清純君 此ノ際ニ於キマシテ、  
森林國營保險ニ付キマシテ賛成ノ考ヲ申述  
ベタイト思ヒマス、此ノ森林ガ人類ノ文明  
ニ甚大ナル影響ヲ持ッテ居ルト云フコトハ  
申ス迄モナイコトナデアリマス、今度ノ保  
險ヲ御附ケニナル上ニ於テ、殊ニ其ノ觀念ヲ  
深く御持チニナラナイト、或ハヒヨットスル  
ト、金錢ニ依ッテ森林ナント云フモノハドウ  
デモ出來ルト云フヤウニ、物質的ニ考ヘラ  
レル憂ガ多分ニアルト思ヒマス、我方國ハ

昔カラ瑞穂ノ國、豐葦原ノ瑞穂ノ國ト言ッテ  
居リ、是ハ深く森林ヲ愛サレタ意味ガ含  
ンデ居ルカト思ヒマスルガ、就中神武天皇  
ガ東征遊バサレル時ニ、東ニ美キ所アリ、  
青山四方ニ周レリト云フ御言葉ガアリマス、  
如何ニ神武天皇様ガ人文ト森林ノ關係ヲ見  
テ居ラレタカト云フコトモ分ルト思ヒマス、  
殊ニ樞原ノ宮殿ヲ御作りニナリマス時ニ、  
態々紀伊ノ國ノ材木ヲ御用ヒニナッタ、ソコ  
ラニ在ル所ノ材木ヲ御用ヒニナッタノデハ  
ナクシテ、紀伊ノ國ニ豫テ造林サレテ居ッ  
タト云フ話デアリマスガ、其ノ造林カラ常  
常ナル莊嚴ナル儀式ヲ以テ伐採ヲサレマシ  
テ、サウシテ宮殿ノ御造營ヲ遊バサレタト  
云フコトヲ考ヘマシテモ、如何ニ此ノ我が  
國民ガ、昔カラ森林ト云フコトニ付テハ、  
精神的ニ尊敬ヲ拂ヒ、又愛護シテ居ッタカト  
云フコトガ分ルノデアリマス、此ノ度政府  
ニ於カセラレテハ、國營ノ保險ヲ御ヤリニ  
ナルノデアッテ、誠ニ私共ハ宜シイ御施設ダ  
ト思ヒマスルガ、ソレニ付ケテモドウカ一ツ、  
物質的ニ餘リニ田舎ノ人ヲ考ヘサセタクナ  
イ、精神的ニ森林ヲ愛護スル尊敬スルト云  
フ觀念ヲ失ハセナイヤウニ、一ツ御注意ヲ  
願ヒマシテ、私ハ此ノ兩法案ニ付テ賛成ヲ  
致ス者デアリマス

○松井茂君 漁船ノ方面ニ付キマシテハ今  
更申上ゲマセヌ、無論賛成デゴザイマスガ、  
尙火災保險ノ方面モ異論ハアリマセヌガ、  
殊ニ一言申述ベテ置キタイトハ、衆議院  
デモ、農業保險ト森林保險トノ、大分兩方  
面ヲ比較サレマシテ、森林保險ヨリモ農業  
保險ノ方がモット困ッテル人多イカラ先決  
問題デハナイカノ如キ話ガナイデモナカッ  
タヤウデアリマス、實ハ此ノ衆議院ノ席上  
デモ出マシタ「マイト」博士ガ、農業保險  
ヲ、五十年前ニ大藏省ノ雇トシテ農業保險  
ノコトニ盡力サレタ、「マイト」先生ハ、實ハ  
私共ノ高等學校ニ於ケル時ノ先生デアッテ、  
ソレハズツト後デアリマスガ、今ハ物故  
サレタノデアリマスガ、ソナコトハ姑ク  
措キマシテ、森林保險ト農業保險トガドツチ  
ガ先決問題カト云フヤウナ區々タル問題ヲ  
言フ必要ハナイノデアッテ、此ノ場合ニ政府  
ガ此ノ保險法ヲ御出シニナルト云フコトハ非  
常ニ機宜ニ適シタモノト大ニ賛成致ス者  
デアリマス、唯異々モ先刻モ申上ゲマシタ  
ノデスガ、心配致シマスノハ、企業者ガ政  
府デアリマスカラ、政府自ラガ、精神的ニ  
範ヲ御示シ下スツテ、大ニ是等重大ナル關  
係ヲ有スルノデアリマスカラ、昨日モ申上  
ゲマシタ通りニ、私ハ此ノ森林ノ火災保險

ノモット根本問題ノ先決問題トシテ、第一

ニ、愛林思想、第二ニ、火災豫防及消防ト

云フヤウナ點ニ於テ政府當局者ハ力ヲ致サ

レテ、折角ノ此ノ保險制度ヲシテ有終ノ美

ヲ濟サシムルヤウニ吳々モ御盡力ヲ下サル

コトヲ條件ト致シマシテ、本案ニ賛成スル

次第デアリマス

○山本米三君 私モ今回提出サレテ居リマ

スル漁船保險法案、漁船保險特別會計法案、

竝ニ森林火災國營保險法案、森林火災保險

特別會計法案ノ此ノ四案ニ對シマシテ、多

少ノ希望ヲ附シマシテ、全部原案ニ賛成ス

ル者デゴザイマス、今回提出ニ係カリマス

ル法案ハ、森林火災ニ於キマシテハ、幼齡

林ノ振興、造林地ニ對シマスル再度造林ヲ

容易ナラシムル目的デアリマシテ、誠ニ時

代ニ適應シタ法案デアリマスルガ、尙之ヲ

一層政府ハ進メラレマシテ、此ノ國營保險

ヲバ壯齡林ニモ擴張實施サレマシテ、森林

金融ノ圓滑ヲ圖ラレルコトガ適當デアラウ

カト思フノデアリマス、尙只今松井委員ノ

御話モゴザイマスル通り、保險ノ普及ヲ圖

ルト同時ニ、森林ノ火災豫防ノ施設ヲ擴充

サレルコトガ最も緊要ナルコトト思フノデ

アリマス、ドウカ折角ノ法案ヲ十分ニ都合

好ク實施サレルコトニ御努力ヲ願ヒタイノ

デゴザイマス、私ノ原案ニ賛成ノ理由ハ是

○松村眞一郎君 私ハ此ノ四法律案ニ對シ

マシテ、此ノ委員會ニ於テ、農林大臣及ビ

各局長、北海道長官ガ此ノ席ニ於テ最も深

切ニ御説明ヲ下サイマシテ、林業ノ爲メ、

漁業ノ爲メ、國土保安ノ爲メ、社會施設カ

ラノ見地カラモ考ヘラレテ、各方面ニ互リ

周到ニ御心配下サレテ種々御研究ノ結果、

此ノ法案トシテ茲ニ提出ヲ見タコトニ對シ

マシテ深く敬意ヲ表スル次第デアリマス、

政府ノ御趣旨トスル所ハ能ク我々ノ了解致シ

タノデアリマシテ、結局ニ於テ我々ノ要望

スル所ト全く同一デアルト云フコトニ感じ

マシテ、大變満足ニ私トシテハ感じマシタ

次第デアリマス、各委員ノ御方々カラ種々

御質疑ガアリ、御意見ノ御述ガアリマシタ

ノデ、色々私モ教ヘラル、所ガ多ク、農林

省、北海道長官ニ於テモ種々御考慮下サツタ

コトトモ考ヘル譯デアリマス、茲ニ私ハ此

ノ四ツノ案ニ對シテマシテ希望決議ヲ付シ

テ、四案ヲ可決スルコトニ賛成致シタイト

思フノデアリマス、其ノ希望決議ハ、今茲

ニ朗讀致シマスガ、委員ノ御方々ノ御賛成

ヲ得マシタナラバ此ノ希望決議ヲ付シテ四

案ヲ可決スルト云フコトニ御賛成ヲ得タイ

ト思フノデアリマス、漁船保險法案、漁船

再保險特別會計法案ニ對シマシテハ次ノ如

キ希望決議ヲ付ケタイト思フノデアリマス

一、海難防止ノ諸施設ヲ整ヘ竝ニ漁撈從

事者遭難救護及遭難者遺族扶助ニ關ス

ル施設ヲ講スヘシ

一、本法ハ速ニ之カ運用ヲ汎ク全國ニ互

ラシメ且中漁船ヲ主トシ普ク漁船ニ及

スヘシ

一、漁船保險ハ適當ナル時期ニ於テ之ヲ

國營ノ制度ニ改ムヘシ

一、漁業組合等ニ金融ヲ爲スヘキ中央金

庫ヲ速ニ特設スヘシ

以上ノ希望決議ヲ付シタイト思フノデアリ

マス、次ニ森林火災國營保險法案、森林火

災保險特別會計法案ニ對シマシテハ、次ノ

如キ希望決議ヲ附スコトニ致シタイト思フ

ノデアリマス

一、森林愛護ノ思想ヲ涵養シ、火災豫防

ノ施設ヲ擴充スヘシ、且ツ之ニ伴ヒ保

險料ノ低下ヲ圖ルヘシ

一、本法ハ適當ナル範圍ニ於テ漸次壯齡

林ニモ之ヲ適用スルニ至ラシムヘシ

一、本法ヲ府縣ニ限定スルコトナク、速

ニ北海道ニモ施行スベシ

以上ノ希望決議ヲ附シテ賛成ヲ致シタイト

思ヒマス

○國務大臣(山崎達之輔君) 連日非常ナル

御精勵ヲ以テ御審議ヲ煩シマシテ、謹ンデ

御禮ヲ申上ゲマス、尙只今松村委員ヨリ御

提議ニ相成ッテ居リマスル希望決議ノ各條

項ニ對シマシテハ、政府ト致シマシテハ、

御趣旨ニ賛成ノ意ヲ表シマシテ、出來得ル

限り之ヲ尊重致シマシテ、實現ニ努力致ス

考デアリマス

○委員長(伯爵堀田正恒君) 外ニ御發言ノ

方ハゴザイマセヌカ、……ゴザイマセヌカ

ウデスカラ、是デ討論ヲ終決致シマシタ、

此ノ希望決議ハ後デ採決致シマシテ、漁船

保險法案乃至三件ノ法案自體全部ヲ議題

致シマス、全部本案通りデ御異存ゴザイマ

セヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(伯爵堀田正恒君) 御異議ナイト

認メマス、引キ續キマシテ松村委員カラ御

述ニナリマシタ希望決議、之ヲ議題ト致シ

マスガ、是モ全部御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(伯爵堀田正恒君) 尙字句ノ修正

等ガアツク場合ニハ、是ハ委員長ニ一任スル

ト云フコトデ宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(伯爵堀田正恒君) 御異議ナイド  
認メマス、是デ終了致シマシタ

午後四時三十八分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵堀田 正恒君  
副委員長 男爵井上 清純君  
委員

公爵鷹司 信輔君

侯爵小村 捷治君

子爵野村 益三君

子爵保科 正昭君

子爵戸澤 正己君

松井 茂君

松村眞一郎君

白根 竹介君

男爵橋元 正輝君

西本健次郎君

山本 米三君

岩崎 清行君

國務大臣

農林大臣 山崎達之輔君

政府委員

北海道廳長官 池田 清君

農林省山林局長 村上龍太郎君

農林省水產局長 原 辰二君

貴族院漁船保險法案特別委員  
會議事速記録第一號正誤

頁	段	行	課	正
一一	一	七	保險	漁船
〃	〃	一〇	共同漁業	共同漁業會社
〃	〃	一一	鳥羽	戸畑
二〇	二	二	漁主	業主
〃	〃	四	漁主	業主
〃	〃	七	漁主	業主
〃	〃	七	漁主	業主
〃	〃	一	自己	自家
〃	〃	六	漁主	業主
三	三	二	全船	全損
二一	三	二	全船	全損

貴族院絲價安定施設法案特別  
委員會議事速記録第三號正誤

頁	段	行	課	正
四	二	二	市價	自己

昭和十二年三月二十六日印刷

昭和十二年三月二十七日發行

貴族院事務局

印刷者 內閣印刷局